

3

運 転 す る と き

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ	3-2
ライティングスイッチ	3-8
ヘッドランプレベラー（光軸調整機構）	3-12
方向指示レバー	3-14
フォグランプスイッチ	3-14
ワイパー&ウォッシャースイッチ	3-16
ヘッドランプウォッシャー	3-21
リヤウインドウデフォグガー（曇り取り）	3-22
フロントワイパーデアイサー	3-23
非常点滅灯（ハザードランプ）スイッチ	3-24
ホーンスイッチ	3-24
イルミネーションコントロールダイヤル	3-25

コンビネーションメーター

メーター	3-27
表示灯	3-33
警告灯	3-37
マルチインフォメーションディスプレイ	3-46

運転装置の使いかた

エンジンの始動と停止のしかた（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）	3-56
エンジンの始動と停止のしかた（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）	3-61
電動パーキングブレーキ	3-63

オートマチック車およびCVT車の運転

セレクトレバー	3-68
運転手順	3-72
マニュアルモード	3-77
SI-DRIVE（SUBARU Intelligent Drive）	3-79

アイドリングストップ

アイドリングストップ（オートスタートストップ）	3-81
-------------------------	------

クルーズコントロール

クルーズコントロール	3-88
------------	------

スイッチの使いかた

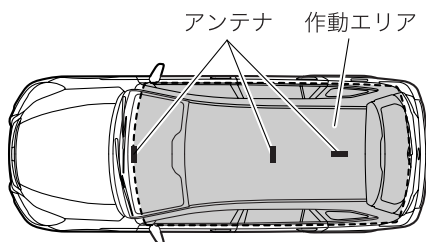
エンジンスイッチ

■キーレスアクセス&プッシュスタート装備車

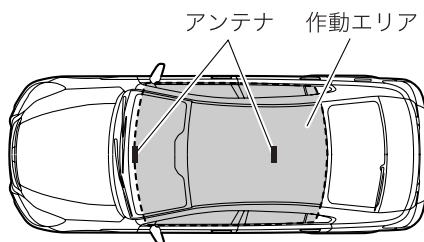
●エンジン始動の作動エリア

<ワゴン>

<セダン>



201758



201757

🏠 アドバイス

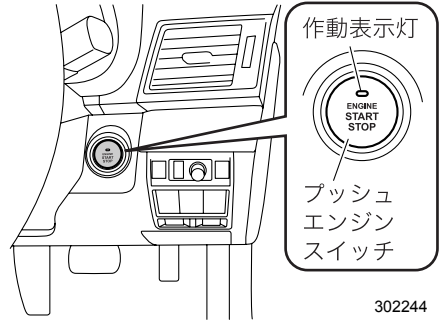
- 車内アンテナの作動エリア内でアクセスキーが検知されない場合、電源切り替えおよびエンジン始動はできません。
- 車外にアクセスキーがある場合でも、ガラス周辺に近づきすぎたときはエンジンを始動できることがあります。
- アクセスキーをトランクに置いた場合、電源切り替えやエンジン始動はできません。但し、アクセスキーの置場や周囲の条件によっては始動できることがあります。
- アクセスキーを次の場所に置かないでください。電源の切り替えやエンジンを始動できないことがあります。
 - ー インストルメントパネル上
 - ー フロア上
 - ー グローブボックス内
 - ー ドアトリムのポケット
 - ー リヤシート
 - ー カーゴルームの隅（ワゴン）
 - ー リヤシェルフ（セダン）
- アクセスキーがバッテリー切れの場合は、「アクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動」の方法でエンジンを始動してください。その後、すみやかに電池を交換してください。

☆7-20、8-66ページ参照

●電源の切り替えかた

プッシュエンジンスイッチを押すごとに、電源が切り替わります。

- ① アクセスキーを携帯し、運転席に座ります。
- ② セレクトレバーがPであることを確認します。
- ③ ブレーキペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押します。押すごとに電源がOFF→Acc→ON→OFFの順に切り替わります。エンジン停止時、プッシュエンジンスイッチがAccまたはONのときはプッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が橙色に点灯します。



電源の状態	作動表示灯の色	各作動の動き
OFF	消灯	電源が切れる
Acc	橙色	次の電装品が使用できる オーディオ、電源ソケットなど
ON	橙色(エンジン停止)	全ての電装品が使用できる
	消灯(エンジン回転中)	

🏠 アドバイス

- プッシュエンジンスイッチを操作するときは、奥まで確実に押ししてください。
- プッシュエンジンスイッチを早押しした場合、電源が切り替わらないことがあります。

●ステアリングロックの解除

プッシュエンジンスイッチを押したとき、スイッチ内の作動表示灯が緑色に点滅している場合は、ステアリングロックが解除されていません。

解除するには、ハンドルを左右に動かしながらブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを押します。

🏠 アドバイス

バッテリーが上がるとステアリングロックが解除できません。バッテリーを充電してください。

▼ステアリングロックの初期化

バッテリー上がりおよびバッテリー交換後はステアリングロックシステムの初期化を行わないとエンジンが始動できない場合があります。

- ① セレクトレバーを[P]にします。
- ② エンジンスイッチをOFFにして運転席ドアを開閉し、約10秒間保持します。
システムが初期化され、ステアリングがロックします。

●バッテリー上がり防止機能

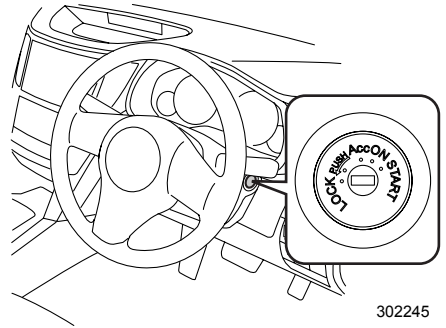
セレクトレバーが[P]のとき、AccまたはONにした状態で約1時間放置するとバッテリー上がり防止のため自動的に電源がOFFになります。



注意

- 電源がONまたはAccのまま長時間放置すると、車両のバッテリー上がりの原因となります。
- セレクトレバーが[P]以外では電源をOFFにすることはできません。
- プッシュエンジンスイッチに飲料水などをこぼさないでください。故障の原因となります。
- プッシュエンジンスイッチを油などの付いた手で触れないでください。故障の原因となります。
- プッシュエンジンスイッチの作動に引っかかりがあるときは、プッシュエンジンスイッチを操作せず、すみやかにスバル販売店に連絡してください。
- 車幅灯を点灯してもプッシュエンジンスイッチ照明が点灯しないときは、スバル販売店で点検を受けてください。
- 炎天下で長時間車両を放置すると、プッシュエンジンスイッチの表面が熱くなる場合があります。やけどしないようご注意ください。

■キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外



302245

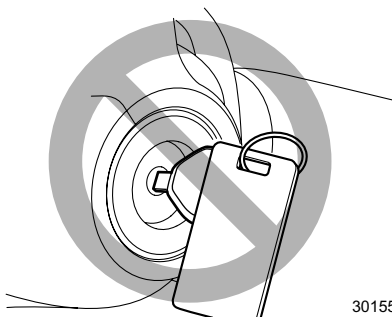
LOCK (ロック)	キーの抜き差しができる位置 キーを抜くとハンドルがロックされます
PUSH (プッシュ)	電源が切れる位置 LOCKへ回転させるときはキーを押し込みます
Acc (アクセサリ)	エンジン停止時、次の電装品が使用できる位置 オーディオ、電源ソケットなど
ON (オン)	全ての電装品が使用できる位置 エンジン始動後はこの位置になります
START (スタート)	エンジンを始動する位置

運転するとき

注意

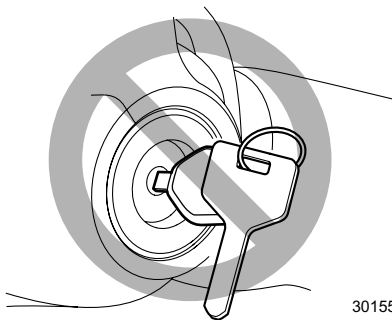
- キーグリップにキーホルダーや他のキーがかさなると、膝や手などが当たり、キーを回してしまうおそれがありますので注意してください。大型のキーホルダーはキーに付けしないでください。テコの原理で小さな力でも回してしまうおそれがあります。
- キーホルダーや他のキーを多数付けしないでください。また、重い物をキーに付けしないでください。車両の動きにより遠心力が働き、キーを回してしまうおそれがあります。

キーグリップにキーホルダーやアクセサリがかさなっているとき



301555

キーグリップに他のキーがかさなっているとき



301556

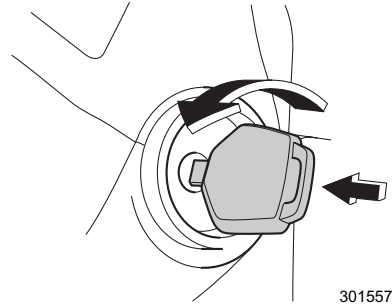
アドバイス

- エンジンを止めているときは、スイッチをLOCKにしてください。
- 長時間ONにしたり、Accにして電装品を使うとバッテリー上がりの原因になります。
- キーがLOCKからAccに回らないときはハンドルを左右に回しながらキーを操作してください。

●キーを抜くとき

セレクトレバーを[P]にしてキーをLOCKに回してください。

PUSH（キーを手前に回すと動かなくなる位置）でキーを押し込んでからLOCKに回してください。



301557

●キー抜き忘れ警報

キーをエンジンスイッチに差したまま運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。

ただし、エンジンスイッチがONのときは鳴りません。



アドバイス

車外に出るときには、必ずキーを持っていることを確認して施錠してください。

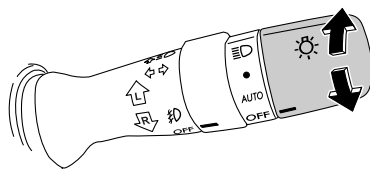
●エンジンキー照明（イグニッションキー照明）

エンジンスイッチの周辺が点灯します。

運転席のドアを開けたとき点灯し、閉めた後も一定時間点灯し、その後徐々に消灯していきます。

ライティングスイッチ

エンジンスイッチがONのとき、スイッチを回すと次のようにランプが点灯します。



301734

スイッチの位置	ヘッドランプ	車幅灯、尾灯、番号表示灯
☺	点灯	
●	消灯	点灯
AUTO ☼	自動点灯または消灯	自動点灯または消灯
OFF	消灯	

ランプ類が点灯しているときに、以下の操作を行うと自動的にランプ類は消灯します。

- プッシュエンジンスイッチを押して電源をOFFにしたとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）
- キーを抜いたとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）

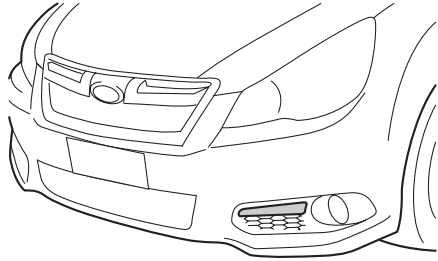
自動的に消灯した場合、プッシュエンジンスイッチを押す、もしくはキーを差すと、ランプが再び点灯します。AUTO位置のときは周囲の明るさに応じて点灯します。

⚠ 注意

エンジン停止中はランプ類を長時間点灯させないでください。また、車から離れるときは、必ずライティングスイッチをOFFにしてください。バッテリー上がりの原因となります。

 **アドバイス**

- 自動消灯後、電源がOFF、またはキーを抜いた状態のときにライティングスイッチをOFFにしてから再度●または☐にすると、ランプが点灯します。
- ディーラーオプションのその他の灯火（LED アクセサリーライナー）装備車は、ライティングスイッチが●または☐のとき（AUTOのときはライティングスイッチ表示灯☐が点灯しているとき）、LED アクセサリーライナーも同時に点灯します。



302309

運転するとき

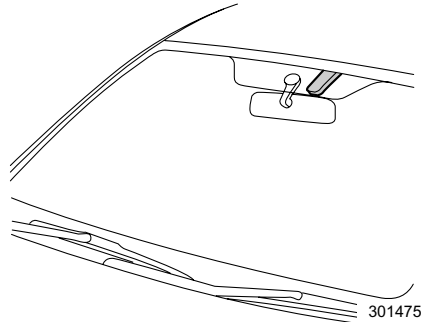
■オートライト

オートライトセンサーは、フロントガラス上部にあります。

エンジンスイッチがONのとき、ライティングスイッチをAUTOの位置にすると、周囲の明るさに応じて各ランプが点灯または消灯します。

車外が暗くなると、まず車幅灯、尾灯、番号表示灯が自動的に点灯します。さらに暗くなるとヘッドランプが点灯します。車外が明るくなると、逆の順に消灯します。

ランプ類が点灯したとき、メーター内のライティングスイッチ表示灯☐が点灯します。



301475

●オートライトの自動点灯・消灯感度のカスタマイズ

オートライトの自動点灯および消灯の感度を、4段階で設定することができます。

☆1-2ページ参照

アドバイス

オートライト装備車は、次のような特徴があります。

- センサーをふさぐようなものをフロントガラス上部に貼ると、正常に作動しない場合があります。
- 昼間に濃い霧などが発生して視界が悪いときでも、自動で点灯しない場合があります。このときは手で点灯してください。
- スイッチがAUTOの場合、連続したトンネルの出口と入口の間隔が短いときはランプが点灯し続けます。
- スイッチがAUTOの場合でも短いトンネルでは点灯しません。
- エンジンスイッチがONでライティングスイッチがAUTOのとき、システムに異常があると、周囲が明るい場合でもランプ類が点灯します。この場合はライティングスイッチをAUTO以外にする、またはエンジンスイッチをOFF（LOCK）にするとランプ類が消灯します。すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。
- 強い電磁波などにより誤作動することがあります。

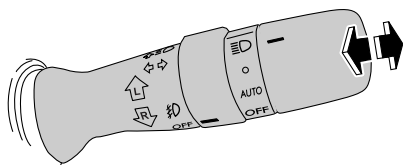
■ ランプ消し忘れ警報

エンジンスイッチの電源がOFF、またはキーを抜いた状態でランプ類が点灯しているときに、運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。

■ ヘッドランプの上下を切り替えるとき

ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前に押すと上向きになります。上向き点灯中はメーター内のハイビーム/パッシング表示灯が点灯します。

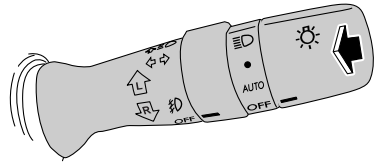
レバーを元に戻すと下向きになります。



302294

■合図のしかた（パッシング）

レバーを手前に引くとヘッドランプは上向きになります。上向き点灯中はメーター内のハイビーム／パッシング表示灯が点灯します。ライティングスイッチがOFFでも使えます。



301736



アドバイス

自動的にランプ類が消灯した場合、ハイビーム／パッシング表示灯は点灯しません。

ヘッドランプレベラー（光軸調整機構）

■オートヘッドランプレベラー

ヘッドランプにHID（高輝度放電）ランプが装備されている車には、自動光軸調整機構がついています。

ヘッドランプの照射方向が正しく調整されていないと、対向車や前を走る車の迷惑になります。そのため、同乗者および積載量から自動的に照射方向を調整し、最適に保ちます。

警告

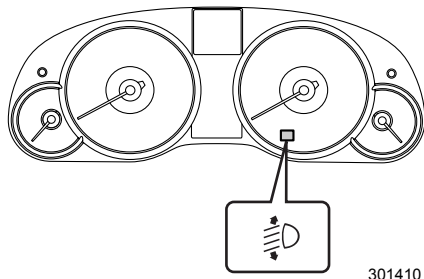
HIDバルブは、高電圧を使用しています。感電防止のため、ランプを分解したり、改造したりしないでください。バルブの脱着、交換はスバル販売店にご相談ください。

●オートヘッドランプレベラー警告灯

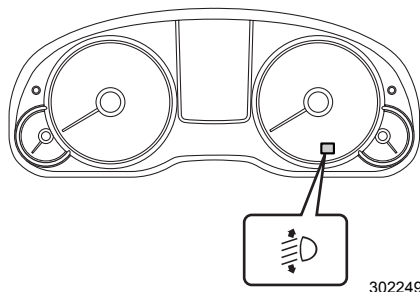
エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。

エンジン回転中、オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）の電子制御システムに異常があると点灯します。

タイプAメーター



タイプBメーター



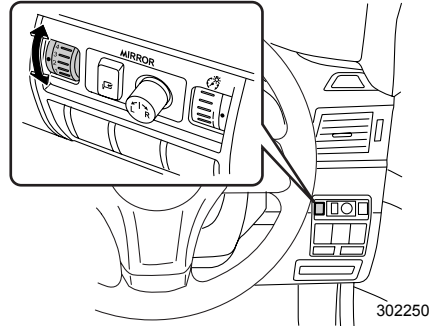
注意

オートヘッドランプレベラー警告灯が点灯したときは、照射方向の自動調整が行われない場合があります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

■マニュアルヘッドランプレベラー

ヘッドランプにハロゲンランプが装備されている車には、光軸調整ダイヤルがついています。ヘッドランプの下向き点灯時に使います。エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- 同乗者および積載量によってヘッドランプが上向きを照らすことがあります。このようなとき、対向車の運転の妨げになるため、光軸調整ダイヤルを調整し、ヘッドランプが照らす向きを下側にしてください。
- ダイヤルの目盛りが大きくなるほどヘッドランプが照らす向きは下側になります。



- 乗車人数、荷室への積載状態に応じて、下の表を参考にダイヤル位置を調整してください。

ダイヤル位置	前席乗車人数	後席乗車人数	荷室への積載
0	1名もしくは2名	0名	無
1	2名	3名	無
2	2名	3名	有※
	1名	0名	有※
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—

※荷室満載にした場合

🏠 アドバイス

- ヘッドランプの照射方向が正しく調整されていないと、対向車や前を走る車に迷惑をかけることになります。対向車のフロントガラスや前を走る車のミラーを照らしているときは、光軸調整ダイヤルを操作してヘッドランプを下向きに調整してください。
- ハロゲンヘッドランプの光軸調整をするときは、光軸調整ダイヤルを「0」の位置にしてから行ってください。

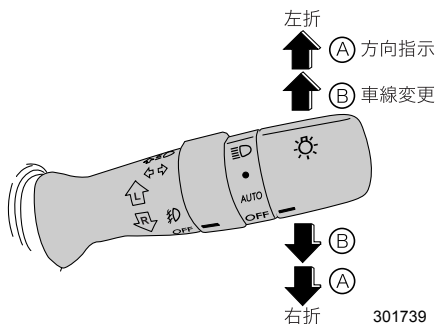
運転するとき

方向指示レバー

エンジンスイッチがON のとき、レバーをⒶの位置まで動かすと方向指示器とメーター内の表示灯が点滅します。

右折あるいは左折後、ハンドルを戻すと自動的に戻りますが、戻らないときは手で戻してください。

車線変更の合図をするときは、Ⓑの位置に軽く動かします。レバーは自動的に戻りますが、方向指示器とメーター内の表示灯が3回点滅します。



301739

アドバイス

方向指示器の電球が切れたとき、またワット数の異なった電球を使用すると点滅が速くなります。

すみやかに点検し、電球を交換してください。

☆8-40ページ参照

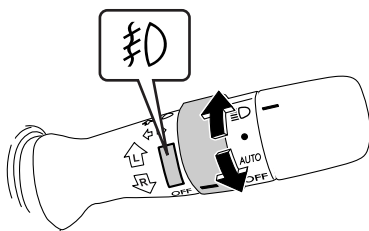
フォグランプスイッチ

郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪いときに使用してください。

■フロントフォグランプスイッチ

メーター内のライティングスイッチ表示灯が点灯しているとき、スイッチをⒶの位置まで回すとフロントフォグランプが点灯します。

フロントフォグランプ点灯中はメーター内のフロントフォグランプ表示灯が点灯します。



302252

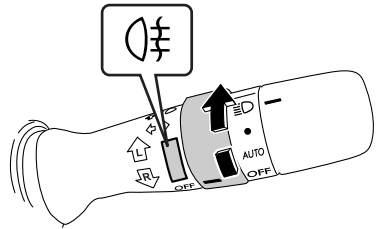
■ リヤフォグランプスイッチ

フロントフォグランプが点灯しているとき、スイッチを (F) の位置まで回すとリヤフォグランプが点灯します。

リヤフォグランプ点灯中は、メーター内のリヤフォグランプ表示灯が点灯します。

手を離すと、スイッチは自動で戻ります。

リヤフォグランプを消灯させる場合は、もう一度スイッチを (F) の位置まで回してください。



302253

アドバイス

- フロントフォグランプはヘッドランプの代わりにはなりません。また、使用方法を誤ると、まわりの車や対向車へ迷惑をかけることになります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪いときだけ使用してください。
- リヤフォグランプは使用方法を誤ると、後続車へ迷惑をかけることになります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪く、後続車に自分の位置を知らせる必要があるときにだけ使用してください。
- リヤフォグランプの消し忘れ防止のため、次の操作を行うとリヤフォグランプが消灯します。
 - － エンジンスイッチをOFFにしたとき
 - － ライティングスイッチをOFFにしたとき
 - － フォグランプスイッチをOFFにしたとき
 再度リヤフォグランプを点灯させるには、フォグランプスイッチを (F) の位置まで回してください。

運転するとき

ワイパー&ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

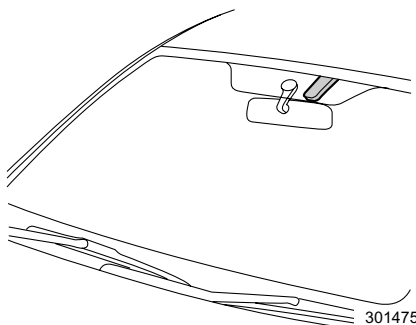
■フロントワイパーの作動

レバーを押し上げる、または押し下げることによって、ワイパーが作動します。

●オートワイパー装備車

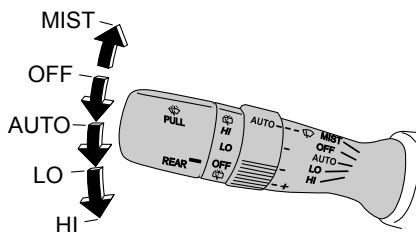
雨滴感知センサーは、フロントガラス上部にあります。雨滴量に応じてワイパーの作動を自動調整します。

ワイパーを使用しない場合は、スイッチをOFFにしてください。



301475

MIST	手動で作動
OFF	停止
AUTO	雨滴量により自動作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動



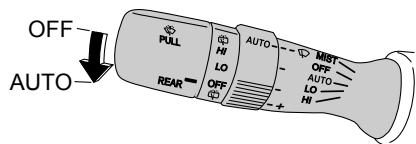
301741

▼オート作動

レバーを1段押し下げます。(AUTO位置)

雨滴量に応じて、次のようにワイパーが作動します。

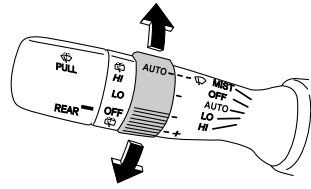
雨滴量	作動状態
なし	停止
少量	間欠作動 (車速に応じて変わります)
普通	低速連続作動
多量	高速連続作動



301742

リングを回すと、雨滴量に反応するセンサーの感度を次のように調整できます。

リング位置	感度
－側	低
＋側	高



301743

▼オートワイパーのカスタマイズ

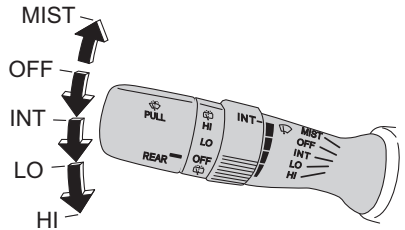
オートワイパーのAUTO/間欠作動の設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

カスタマイズで間欠作動設定時、リングを回すと間欠作動の間隔を調整できます。

●オートワイパー装備車以外

MIST	手で作動
OFF	停止
INT	間欠作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動



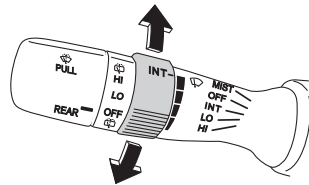
301744

▼間欠作動の間隔調整

レバーを1段押し下げます。(INT位置)

リングを回すと、間欠作動の間隔を次のように調整できます。

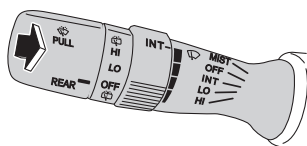
リング位置	作動間隔
上側	長
下側	短



301745

●フロントウォッシャー

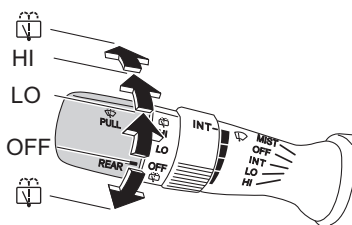
スイッチを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射します。このとき、ワイパーが1～2回転します。





301746

■リヤワイパー／ウォッシャーの作動

スイッチを回すと作動します。



301747

 (上側)	連続作動中にウォッシャー液が噴射します。 手を離すとHIに戻ります。
HI	連続作動
LO	間欠（低速）作動 （車速に応じて変わります）
OFF	停止
 (下側)	ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが動きます。 手を離すとOFFに戻ります。

 **注意**

- ガラスが乾いているときにはワイパーを操作しないでください。ガラスに傷をつけることがあります。また、ワイパーブレードに傷がつき、拭き残しの原因となります。

オートワイパー装備車は、次のことに注意してください。

- エンジンスイッチがONでワイパースイッチがAUTOのとき、センサー周辺のフロントガラスに触れたり、水などを含んだ布を近づけないでください。洗車する場合は必ずスイッチをOFFにしてください。ワイパーが作動し、思わぬけがをするおそれがあります。
- 自動洗車機を使用する場合、必ずスイッチをOFFにしてください。ワイパーが作動し、上面ブラシに引っかかりワイパーなどが損傷するおそれがあります。

 **アドバイス**

- ガラスに拭き残しができるときにはワイパーブレードのラバーを交換してください。

☆7-12ページ参照

- 寒冷地で屋外に駐車するときにはワイパーを立てておいてください。ワイパーブレードがガラスに凍りつくことを防止するためにワイパーアームを起こすときは、運転席側を先に起こしてから助手席側を起こしてください。戻すときは、助手席側のワイパーアームを先に戻してから運転席側のワイパーアームを戻してください。手順を間違えた場合、ワイパーアームが損傷する原因となります。
- ワイパーブレードがガラスに凍りついたときは、ぬるま湯をかけるか、以下の操作を行いガラスを暖めてください。
 - －フロントガラスは、デフロスタースイッチを押すか、フロントワイパーデアイサー（装備車のみ）を使用してください。
 - －リアガラスは、リヤウインドウデフォグガーを使用してください。

☆3-22、3-23ページ参照

- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチをAccまたはLOCK（OFF）にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。
- フロントワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。その場合には、車を安全な場所に止めて、一度ワイパースイッチをOFFにしてください。10分ほどするとブレーカーが復帰して通常使用できるようになります。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- フロントウォッシャーノズルの噴出範囲の調整はスバル販売店にご相談ください。
- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを押し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。ゴミがつまるなど、ウォッシャー液が噴射できないときは、最寄りのスバル販売店にご連絡ください。

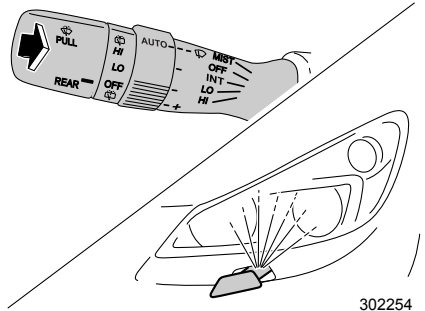
オートワイパー（装備車のみ）には、次のような特徴があります。

- エンジンスイッチがONのとき、ワイパースイッチをAUTOにすると、作動確認のためワイパーが1回作動します。
- センサーまたはフロントガラスに振動があったり、虫や泥などの汚れが付着した場合は、ワイパーが作動することがあります。降雨時以外はスイッチをOFFにしてください。
- 雨滴または雪が降っていてもセンサーが感知しない場合、ワイパーは作動しません。その場合は、スイッチをLOまたはHIに切り替えてください。
- 次の場合はセンサーが雨滴量を正確に感知できず、ワイパーが正常に作動しない場合があります。
 - － フロントガラスにはっ水コーティングをしたとき
 - － フロントガラス上部が汚れているとき
 - － フロントガラス上部が氷結しているとき
- 車速に感応する間欠作動ワイパーが装備されています。停車中の作動間隔は、次のようになります。
 - － フロントワイパー：走行中に比べ長くなります。
 - － リヤワイパー：セダンは走行中に比べ短くなり、ワゴンは走行中に比べ長くなります。
- リヤワイパーの間欠作動は、フロントワイパーの間欠作動と連動していません。
- 雨滴量に変化しているときでもワイパーが一定間隔で作動している場合、雨滴感知センサーが故障しているおそれがあります。このようなときはワイパースイッチを手動で切り換えてください。オートワイパーの故障が考えられますので、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
- 外気温が -15°C 以下の場合、降雪での使用を想定し、ワイパースイッチがAUTOでもワイパーが作動しないことがあります。その場合はスイッチをLOまたはHIに切り替えてワイパーを使用してください。外気温が -10°C 以上になるとAUTO作動が使用可能な状態に戻ります。
- センサー周囲温度が 80°C 以上の場合、正しく雨滴を感知できないため、ワイパースイッチがAUTOでもワイパーが作動しないことがあります。その場合はスイッチをLOまたはHIに切り替えてワイパーを使用してください。
- 強い電磁波により誤作動することがあります。

ヘッドランプウォッシャー

エンジンスイッチがONのとき使用できます。ヘッドランプが汚れたときに使用します。次の場合、フロントウォッシャーのスイッチを1秒以上手前に引くと、フロントウォッシャーと連動して作動します。ヘッドランプウォッシャーは約1秒間作動し、停止します。

- ライティングスイッチがIIIのとき
- ライティングスイッチがAUTOでヘッドランプが点灯しているとき（オートライト装備車）



302254

アドバイス

- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを手前に引き続けると、ポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
- ゴミがつまるなど、ウォッシャー液が噴射できないときは、最寄りのスバル販売店にご連絡ください。

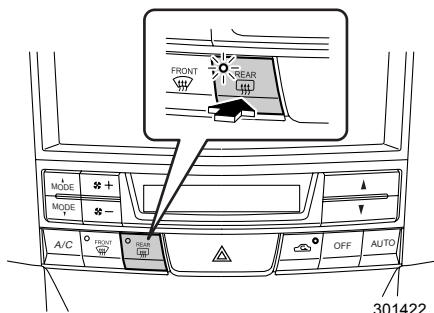
リヤウインドウデフォグガー（曇り取り）

エンジンスイッチがONのとき使用できます。スイッチはエアコンの操作パネルの中にあります。リヤガラスの内側が曇ったときに使用します。

電熱線はリヤガラスにプリントしてあります。

■使いかた

スイッチを押すと、スイッチ内の表示灯が点灯し、約15分後、自動的にOFFになります。作動中、途中で止めるときは、スイッチをもう一度押します（表示灯が消灯）。



●リヤウインドウデフォグガーのカスタマイズ

リヤウインドウデフォグガーを15分作動／連続作動に設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

🏠 アドバイス

- 消費電力が大きいため長時間使うことや雪を溶かすような使いかたは避けてください。
- ガラス内側の清掃時、電熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で電熱線に沿って軽く拭いてください。ガラスクリーナー、洗剤は使わないでください。
- ヒーテッドドアミラー装備車は、リヤウインドウデフォグガースイッチを押すと、ヒーテッドドアミラーも連動して作動します。

☆2-90ページ参照

- フロントワイパーテアイサー装備車は、リヤウインドウデフォグガースイッチを押すと、フロントワイパーテアイサーも同時に作動します。

☆3-23ページ参照

- 連続作動は15分間作動し、2分間停止し、再度15分間作動を繰り返します。ただし、2分間の作動停止中も表示灯は点灯しています。
- 連続作動中にバッテリー電圧が低下すると連続作動は停止します。また、2分間の停止中にバッテリー電圧が低下したときも作動が停止します。

フロントワイパーデアイサー

エンジンスイッチがONのとき使用できます。リヤウインドウデフォグガーと同時に作動します。

☆3-22ページ参照

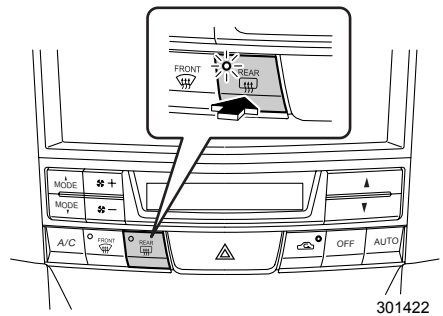
フロントワイパーがガラスに凍結しているとき、ガラスを温めてワイパーが作動できるようにします。

電熱線はフロントガラスの下部にプリントしてあります。

■使いかた

スイッチを押すとスイッチ内の表示灯が点灯し、フロントガラスの下側が暖められます。約15分後、自動的にOFFになります。

作動中、途中で止めるときは、スイッチをもう一度押します（表示灯が消灯）。



運転するとき

●フロントワイパーデアイサーのカスタマイズ

リヤウインドウデフォグガーのカスタマイズに連動し、15分作動/連続作動に設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

アドバイス

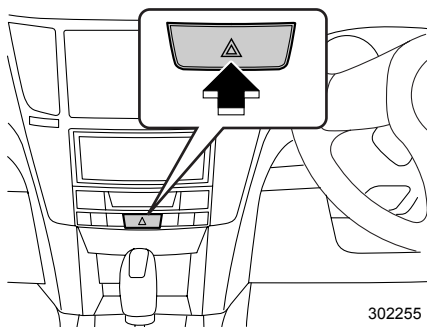
- 外気温度が5°C以上のとき、フロントワイパーデアイサーは作動しません。
- ワイパーデアイサーは消費電力が大きいため必要なとき以外はスイッチを切ってください。長時間使い続けると、バッテリー上がりの原因になります。
- 物が電熱線に当たらないように気をつけてください。
- 連続作動に設定していても、下記条件のときには、15分後に停止します。
 - － 外気温度が5°C以上のとき
 - － SI-DRIVEがI（インテリジェントモード）のとき
 - － バッテリー電圧が低下したとき
- 連続作動に設定していても、車速約15 km/h以下の状態が15分間続いた場合、自動的にOFFになります。

非常点滅灯（ハザードランプ）スイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。

スイッチを押すと、全ての方向指示器のランプが点滅します。

故障などでやむを得ず路上に駐車するとき、他の車に自分の車の存在を知らせるために使います。



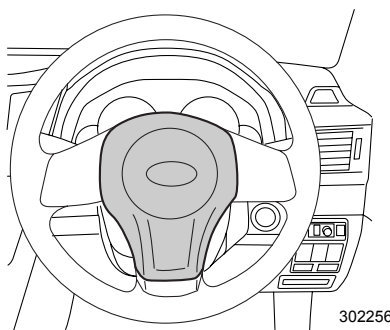
アドバイス

- 非常時にお使いください。
- 長時間、点滅したままにしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

ホーンスイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。

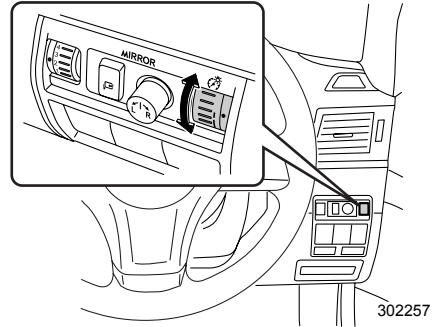
ハンドル中央のパッド面を押すとホーンが鳴ります。



イルミネーションコントロールダイヤル

メーター内のライティングスイッチ表示灯DOEが点灯しているとき、コントロールダイヤルを回すとコンビネーションメーター、エアコンパネル照明などの明るさを6段階に調整することができます。

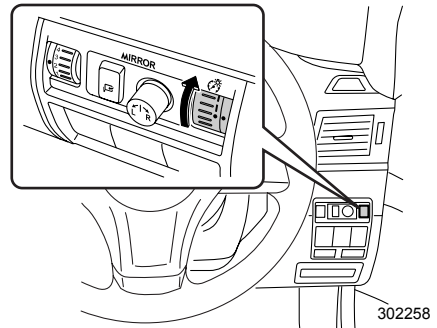
- 上方向に回すと明るくなります。
- 下方向に回すと暗くなります。



■ ブライト（減光キャンセル）機能

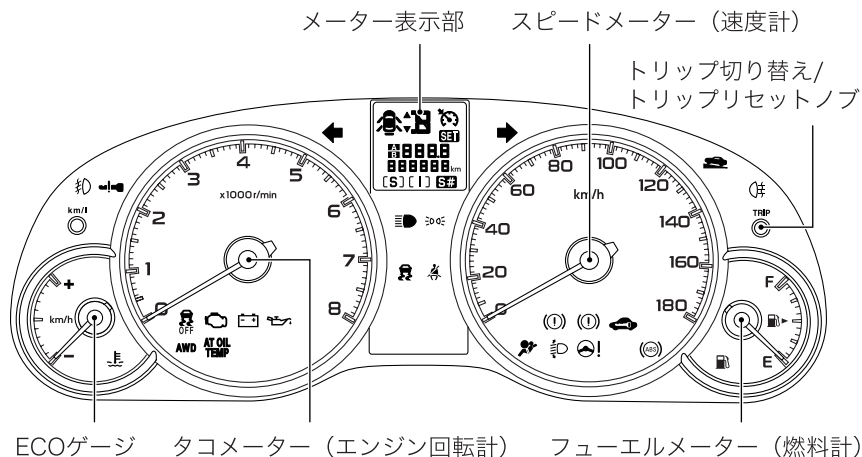
メーター内のライティングスイッチ表示灯DOEが点灯すると、メーターが一段減光し、暗くなります。昼間、ランプを点灯させて走るときで表示が見にくい場合は、減光をキャンセルし、明るくすることができます。

ダイヤルを一番明るい段階からさらに一段階（●印部分）上方向に回すと、減光がキャンセルされ、明るくなります。



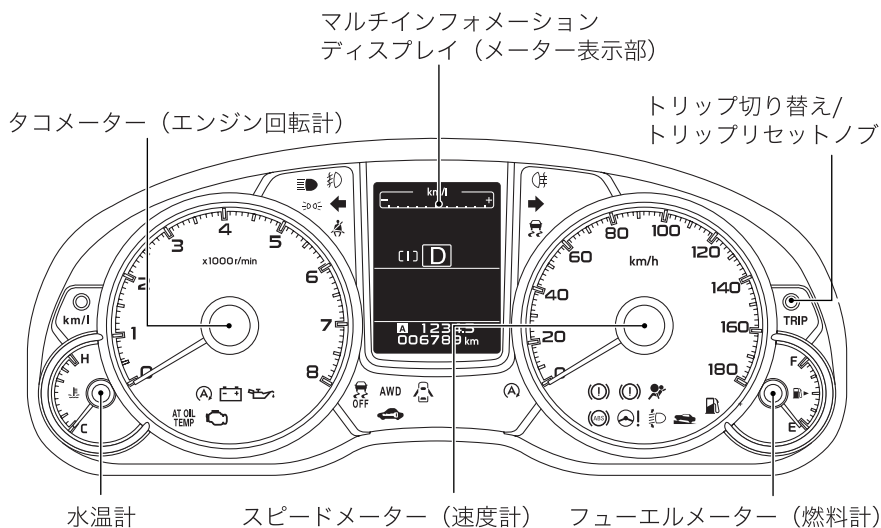
コンビネーションメーター

<タイプA>



302246

<タイプB>



302247

※ 表示灯、警告灯の有無やメーターのデザインは、グレードおよび装備により一部異なります。

メーター

■ウェルカム/グッバイ画面（タイプBメーター）

ウェルカム画面は、エンジンスイッチがOFFの状態では運転席のドアを開けると、マルチインフォメーションディスプレイに一定時間表示されます。

また、エンジンスイッチをONからOFFにすると“Good-bye”が表示されます。



302259

🏠 アドバイス

- ウェルカム/グッバイ画面は、エンジンスイッチをONにすると通常の表示に戻ります。
- キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）でドアを施錠すると消灯します。
- ウェルカム/グッバイ画面は作動あり/作動なしの設定ができます。

☆3-54ページ参照

■メーターの初期作動

メーターは、エンジンスイッチをONにするとメーターの全ての指針が一度最大値を指し、すみやかに戻ります。（スイープ機能）

🏠 アドバイス

メーターの初期作動（スイープ機能）は作動あり/作動なしの設定ができます。

☆3-32（タイプAメーター）、3-54（タイプBメーター）ページ参照

■スピードメーター（速度計）

車の走行速度を示します。

■タコメーター（エンジン回転計）

毎分のエンジン回転数を示します。

⚠ 注意

指針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数を超えている範囲）に入らないように運転してください。

指針がレッドゾーンに入る運転を続けるとエンジンなどが損傷することがあります。

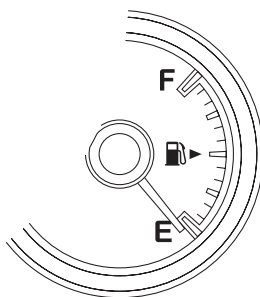
🏠 アドバイス

- アイドリング時に電気負荷が変動すると、エンジン回転数が変動することがあります。
- 極低速時、または停車時にハンドルを操作すると、エンジン回転数が変動することがあります。

■フューエルメーター（燃料計）

燃料の残量を示します。指針が「E」に近づいたら早めに給油をしてください。

☆2-30ページ参照



302260

⚠ 注意

燃料を給油するときは、必ずエンジンを止めてください。

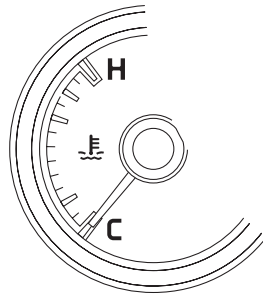
☆1-26ページ参照

 **アドバイス**


- エンジンスイッチがONのとき、燃料の残量を示します。ON以外の場合はトリップ切り替え/トリップリセットノブを押すと一定時間、燃料の残量を表示します。
- 給油後の残量はエンジンを始動すると示します。また、指針が安定するまでしばらく時間がかかります。
- 指針と消費量（残量）の関係は必ずしも正確ではありません。目安として活用してください。
- 坂道やカーブ、急発進、急停車などではタンク内の燃料が移動するため、指針が振れることがあります。
- エンジンスイッチがONのまま燃料を補給すると、正しい燃料残量が表示されません。
- 給油量が少ない場合（約 15L 以下）、指針が安定するまでしばらく時間がかかります。

■ **水温計（タイプBメーター）** 

エンジンスイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。
冷却水が温まると指針はオーバーヒートゾーンより下（ゲージのほぼ中央）を示します。



302261

 **注意**

指針がオーバーヒートゾーンを指したまま下がらないときは、オーバーヒートのおそれがあります。直ちに安全な場所に停車し、必要な処置（エンジンを冷やす）をしてください。

☆8-26ページ参照

運転するとき

🏠 アドバイス

エンジンスイッチがON以外のときは、指針は冷却水の温度に関係なく「C」を示します。

「H」：高温（HOT）

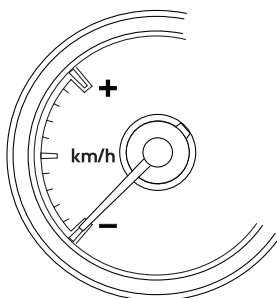
「C」：低温（COLD）

を示しています。

■ECOゲージ

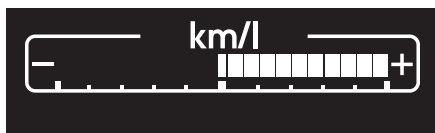
トリップメーターをリセットしてからの平均燃費と瞬間燃費の差を表示します。平均燃費よりも瞬間燃費が良い場合は+側、悪い場合は-側を表示します。

タイプAメーター



302248

タイプBメーター



302262

🏠 アドバイス

- ECOゲージはあくまでも目安です。
- 平均燃費は、トリップメーターリセット後、1 km 走行すると表示されます。表示されるまでの間、ECOゲージは作動しません。

■オドメーター（積算距離計）

走行した総距離をkmで表示します。

タイプAメーター

006789 km

006789 km

タイプBメーター

302263

🏠 アドバイス

エンジンスイッチがON以外の位置でもトリップ切り替え/トリップリセットノブを押すと、一定時間バックライトが点灯し、オドメーター・トリップメーターが表示されます。

運転するとき

■トリップメーター（区間距離計）

ある区間に走行した距離を知りたいとき使います。

表示範囲：タイプAメーター … 0.0 km～9999 km

タイプBメーター … 0.0 km～9999.9 km

タイプAメーター

タイプBメーター

A 1234

A 1234.5

B 67.8

302264

B 67.8

302265

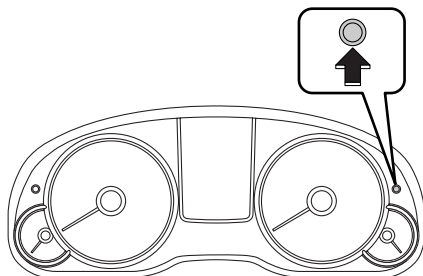
🏠 アドバイス

エンジンスイッチがON以外の位置でもトリップ切り替え/トリップリセットノブを押すと、一定時間バックライトが点灯し、オドメーター・トリップメーターが表示されます。

●トリップA、B切り替え

トリップ切り替え／トリップリセットノブを押すごとに、次のように表示が切り替わります。

TRIP[A] ←→ TRIP[B]



302327

●トリップA、Bを0に戻すとき

トリップAまたはトリップBのうち、リセットしたい方を表示させ、トリップ切り替え／トリップリセットノブを押し続けると0.0に戻ります。

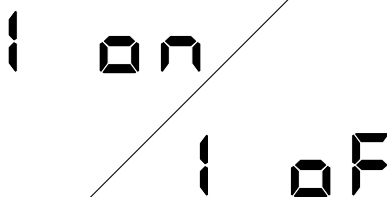
■メーターの初期設定

☆タイプBメーター装備車は、3-54ページをご覧ください。

●指針の初期作動（スイープ機能）の設定のしかた（タイプAメーター）☞

指針の初期作動は作動あり／作動なしの設定を切り替えることができます。

- ① エンジンスイッチをON以外の位置にします。
- ② トリップ切り替え／トリップリセットノブを押し、表示を切り替えます。
トリップ表示の次に現在の設定が表示されます。
- ③ このときトリップ切り替え／トリップリセットノブを2秒以上押し続けると切り替わります。



301431

表示灯

■方向指示器表示灯

方向指示器の点滅を示します。



🏠 アドバイス

方向指示器の電球が切れたとき、またワット数の異なった電球を使用すると点滅が速くなります。

すみやかに点検し、電球を交換してください。

☆8-40ページ参照

■ライティングスイッチ表示灯

ライティングスイッチが●または☉のとき点灯します。

オートライト装備車は、ライティングスイッチがAUTOのとき、周囲が暗くなると点灯します。



■ハイビーム/パッシング表示灯

ヘッドランプが上向きするとき点灯します。

また、パッシング時も点灯します。



■フロントフォグランプ表示灯☼

フロントフォグランプが点灯しているとき点灯します。



🏠 アドバイス

フロントフォグランプはヘッドランプの代わりにはなりません。また、使用方法を誤ると、まわりの車や対向車へ迷惑をかけることになります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪いときだけ使用してください。

■リヤフォグランプ表示灯☼

リヤフォグランプが点灯しているとき点灯します。



🏠 アドバイス

- リヤフォグランプは使用方法を誤ると、後続車へ迷惑をかけることになります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪く、後続車に自分の位置を知らせる必要があるときにだけ使用してください。
- リヤフォグランプは運転席側のみ装備されています。

■セキュリティ表示灯



キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）で全てのドア（リヤゲート含む）およびトランクを施錠すると盗難警報装置が監視状態に入り、表示灯が点滅します。

⚠ 注意

盗難警報装置が作動中、キーを使ってドアまたはトランクを開けるとホーンが鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が点滅します。

☆2-42ページ参照

●イモビライザー装備車

通常は点滅しています。

次のことを行った場合、表示灯は消灯します。

- アクセスキーを携帯しプッシュエンジンスイッチを押して Acc にしたとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）
- エンジンスイッチにキーを差し込んだとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）

🏠 アドバイス

登録されていないキーを使用すると表示灯が点灯します。（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）

☆2-40ページ参照

■セレクトインジケーター/シフトポジション表示灯

セレクトレバーの位置またはギヤ位置を表示します。

マニュアルモード時、シフトアップ、シフトダウンが可能な場合に◀印が点灯します。

☆3-68、3-78ページ参照

タイプAメーター

タイプBメーター



302266



302267

■VDC OFF表示灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

VDC OFFスイッチを押してVDCを作動停止状態にしたときに点灯します。

☆5-26ページ参照

■半ドア表示灯（タイプAメーター）



エンジンスイッチの位置に関係なく、開いているドア（リヤゲート/トランクを含む）を表示します。

⚠ 注意

表示灯が点灯したままの状態で行きしないでください。

🏠 アドバイス

タイプBメーター装備車は、マルチインフォメーションディスプレイに割り込み画面が表示されます。

☆3-52ページ参照

■クルーズコントロール表示灯



エンジンスイッチONで点灯し、約2秒後に消灯します（タイプAメーター）。

クルーズコントロールのメインスイッチを押すと点灯します。

表示灯が点灯すると、クルーズコントロールシステムの速度をセットできます。

☆3-89ページ参照

⚠ 注意

エンジン警告灯が点灯すると、同時にクルーズコントロール表示灯も点灯します。高速走行を避け、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

■クルーズコントロール車速セット表示灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します（タイプAメーター）。

クルーズコントロール表示灯が点灯している状態で、任意の速度をセットしたときに点灯します。

☆3-89ページ参照

■I (インテリジェントモード) 表示灯

[I]

SI-DRIVEのI (インテリジェントモード) を選択すると点灯します。
☆3-79ページ参照

注意

エンジンスイッチがONでも点灯しない場合、および表示灯が点滅しSI-DRIVEスイッチを操作しても切り替わらない場合は、システムの異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

■S (スポーツモード) 表示灯

[S]

SI-DRIVEのS (スポーツモード) を選択すると点灯します。
☆3-79ページ参照

注意

エンジンスイッチがONでも点灯しない場合、表示灯が点滅しSI-DRIVEスイッチを操作しても切り替わらない場合は、システムの異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

■S# (スポーツシャープモード) 表示灯

S#

SI-DRIVEのS# (スポーツシャープモード) を選択すると点灯します。
☆3-79ページ参照

注意

表示灯が点滅しSI-DRIVEスイッチを操作しても切り替わらない場合は、システムの異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

アドバイス

エンジンが冷えているときは、S# (スポーツシャープモード) を選択しても切り替えができません。この場合ブザーが鳴り、切り替えができないことを運転者に知らせます。

■ヒルホールド表示灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に現在の状態（ONまたはOFF）に応じて消灯または点灯します。



ヒルホールドスイッチを押してヒルホールド機能をONにすると点灯します。

☆3-64ページ参照

⚠ 注意

ヒルホールドスイッチを押しても点灯しない場合は、システムの異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

■アイドリングストップ表示灯（緑色）

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

アイドリングストップの作動条件を満たしたとき、またはアイドリングストップ中に点灯します。エンジンが再始動すると消灯します。



☆3-81ページ参照

運転するとき

警告灯

タイプBメーターは、警報や異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイに割り込み画面が表示されます。

☆3-49ページ参照

■ブレーキ警告灯（赤色）

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。（電動パーキングブレーキが解除されているとき）



エンジン回転中、次の場合に点灯します。

- 電動パーキングブレーキがかかっているとき
- ブレーキ液が著しく不足しているとき
- エレクトロニック ブレーキフォース ディストリビューション（EBD）の電子制御システムに異常があるとき

EBDの電子制御システムに異常があるときはABS警告灯も同時に点灯します。


☆5-24ページ参照

電動パーキングブレーキが作動できない条件のときにスイッチを操作すると、警告灯が約10秒間点滅しお知らせします。

電動パーキングブレーキシステムに異常があるときは、警告灯が点滅し続けます。

 **警告**

- 警告灯が点滅し続けたときはシステムに異常がありますので、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店にご連絡ください。
- エンジン回転中に電動パーキングブレーキを解除しても警告灯が消灯しないとき、またはブレーキ液を補充しても消灯しないときは、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

 **注意**

ブレーキ液が正常で、ABS警告灯も同時に点灯している場合は、アンチロックブレーキシステム（ABS）に異常が発生している可能性があります。そのため、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

 **アドバイス**

- 電動パーキングブレーキが作動中にエンジンスイッチをOFFにする、またはエンジンスイッチがOFFのとき電動パーキングブレーキを作動させた場合は、ブレーキ警告灯が約30秒間点灯し、その後消灯します。
- 頻繁に電動パーキングブレーキのスイッチ操作を繰り返した場合、約20秒間ブレーキ警告灯が点滅します。この場合は時間をおいて操作してください。
- エンジンを始動した直後にランプが点滅する場合がありますが、その後、電動パーキングブレーキを解除したときにランプが消灯すれば正常です。

■シートベルト警告灯



エンジンスイッチがONでシートベルトが未着用の場合、警告灯が点灯します。シートベルトを着用すると消灯します。

助手席および後席の警告灯はエンジンスイッチをONにすると表示され、次の場合約30秒後に消灯します。

- 助手席または後席に乗車していない

シートベルトを着用せずに走行すると警告灯が点滅または点灯し、ブザーが鳴ります。

☆2-72ページ参照

■半ドア警告灯（タイプBメーター）



エンジンスイッチの位置に関係なくドアが完全に閉じていないときに点灯します。リヤゲートまたはトランクが完全に閉じていないときも点灯します。

⚠ 注意

警告灯が点灯したままの状態で行きしないでください。

■ABS警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

アンチロックブレーキシステム（ABS）の電子制御システムに異常があると点灯します。

☆5-22ページ参照

⚠ 注意

警告灯が点灯するとABSは作動せず通常のブレーキとして作動します。走行上支障ありませんが、滑りやすい路面では気をつけて運転し、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

🏠 アドバイス

警告灯が次の場合は正常です。

- エンジン始動後に警告灯が点灯してすぐに消灯し、その後再び点灯しない。
- エンジン始動後に警告灯が点灯したままであるが、車速12 km/hになったとき消灯する。
- 走行中に点灯してもその後消灯し、再度点灯しない。

■AWD警告灯

AWD

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。

異なる径のタイヤをいずれかの車輪に取り付けて走行したとき点滅します。

または4本のタイヤのいずれかの空気圧が著しく低下したまま走行しているときに点滅する場合があります。

☆5-20ページ参照

警告

- AWD 警告灯が点滅したまま走行を続けると、車両の駆動系の損傷や最悪の場合、火災につながるおそれがあり危険です。AWD 警告灯が点滅したときは、すみやかに安全な場所に駐車し、4本のタイヤ径が同じかどうか、また、タイヤのバンクもしくは空気圧の低下がないかどうか確認してください。
- タイヤに異常がない場合には、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

■SRSエアバッグ警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約6秒後に消灯します。

運転席・助手席エアバッグ、サイドエアバッグ（装備車）、カーテンエアバッグ（装備車）、エアバッグセンサー、シートベルトプリテンショナーのいずれかに異常があると点灯します。

警告

- 警告灯が次のようになったときはシステム異常が考えられますので走行しないでください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。
直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
 - － エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
 - － 走行中に点灯したとき
- 警告灯がシステム異常を示している場合、軽微な衝撃でSRSエアバッグが作動したり、大事故でも作動しない場合があります。

■ オイルプレッシャー警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後に消灯します。
エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているエンジンオイルの圧力に異常があると点灯します。

⚠ 注意

走行中に点灯したときは、直ちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてエンジンオイル量を点検してください。エンジンオイル量が正常にもかかわらず点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、直ちにスバル販売店にご連絡ください。

🏠 アドバイス

オイルプレッシャー警告灯はオイル量を示すものではありません。
オイル量の点検はオイルレベルゲージで行ってください。

■ AT油温警告灯

AT OIL
TEMP

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。
ATまたはCVTのトランスミッションフルードの温度が高くなると点灯します。

⚠ 注意

- 走行中に点灯したときは、冷却のため直ちに安全な場所に停車し、セレクタレバーを **P** にしてエンジンをかけたままにしてください。しばらくして消灯すれば走行できます。消灯しないときは、直ちにスバル販売店にご連絡ください。
- AT 油温警告灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションまたは CVT に異常があります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

■ チャージ警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後に消灯します。
エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。

⚠ 注意

エンジン回転中に点灯したときは、発電機の駆動ベルト切れなどが考えられます。直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店にご連絡ください。

■エンジン警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後に消灯します。
エンジン回転中、エンジン電子制御システムの異常があると点灯します。
エンジン回転中、触媒を損傷する可能性があるると点滅します。

⚠ 注意

- エンジン回転中に点灯したときは、エンジン電子制御システムに異常があります。
高速走行を避け、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
 - エンジン回転中に点滅したときは、触媒を損傷する可能性があります。
触媒の損傷を防ぐため、次のことを行ってください。
 - － 速度を落として走行してください。
 - － 急発進、急加速を避けてください。
 - － 急な上り坂を避けてください。
 - － 可能であれば荷物を減らしてください。
- 上記の処置をしてもエンジン警告灯が点滅したままの場合、または点灯に変わった場合は、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

■燃料残量警告灯



エンジンスイッチがONのとき、燃料残量が約9L以下になると点灯します。

⚠ 注意

点滅したときはフューエルメーター（燃料計）に異常があります。このとき正しい燃料残量は表示されません。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

🏠 アドバイス

- 点灯したときは、すみやかに給油してください。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、警告灯が早めに点灯することがあります。

■VDC警告灯/VDC作動表示灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。



●VDC警告灯

VDCの電子制御システムに異常があると点灯します。

●VDC作動表示灯

TCS機能作動時、またはVDC作動時に点滅します。

☆5-26ページ参照

⚠ 注意

- 次の場合は異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。
 - － エンジンスイッチのONにしても点灯しない。
 - － エンジン始動後、数分たっても消灯しない。
- VDCの作動にABSの構成部品を使っているため、ABSの電子制御システムに異常があるときはABS警告灯の点灯と同時にVDC警告灯も点灯します。VDC警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、VDCはもちろんABSも作動しません。通常のブレーキとしては作動しますので、走行上支障はありませんが、滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。
- VDC警告灯のみが点灯したときは、VDC機能やTCS機能は作動しませんがABSは作動します。VDCの付いていない車両と同じように扱ってください。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

🏠 アドバイス

- 警告灯が下記の場合は正常です。
 - － エンジン始動後、警告灯が点灯したがすぐに消灯し、その後再び点灯しない
 - － エンジン始動後に警告灯が点灯したままであるが、その後走行中に消灯する
 - － 走行中に点灯してもその後消灯し、再度点灯しない
- 寒い日の朝などにエンジンを始動させた場合、消灯までに時間がかかる場合がありますが、これは異常ではありません。

■オートヘッドランプレベラー警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。

エンジン回転中、オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）の電子制御システムに異常があると点灯します。

☆3-12ページ参照

注意

オートヘッドランプレベラー警告灯が点灯したときは、照射方向の自動調整が行われない場合があります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

■電動パーキングブレーキ警告灯（黄色）

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

システムに異常があるときは、警告灯が点灯します。

☆3-63ページ参照

警告

警告灯が点灯し続ける場合はシステムに異常がありますので、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店にご連絡ください。

アドバイス

警告灯が次の場合は正常です。

- エンジン始動後に警告灯が点灯したままであるが、その後電動パーキングブレーキを解除したときに消灯し、再度点灯しない。
- 走行中に点灯しても、その後直ちに消灯し、再度点灯しない。

■水温警告灯/水温表示灯（タイプAメーター）

エンジンスイッチをONにすると、約2秒間赤く点灯し、その後消灯あるいは青く点灯します。エンジン冷却水温の低温を示す表示灯（青点灯）と高温を示す警告灯（赤点滅と赤点灯）があります。

●水温表示灯（青色）

水温が低いときに点灯します。水温が上がると消灯します。

●水温警告灯（赤色）

水温がオーバーヒート手前の温度になると点滅し、オーバーヒートになると点灯します。点滅または点灯したときは、オーバーヒートの処置を行い、スバル販売店で点検を受けてください。

☆8-26ページ参照

 **注意**

- エンジンスイッチをONにした後、約2秒以上たっても赤く点灯し続けた場合、または赤／青に交互に点灯した場合は、電気系統の異常が考えられます。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
- 暖機後も水温表示灯（青色）が点灯し続ける場合は、冷却系統などに異常が考えられます。すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

 **アドバイス**

走行状態により、再始動時しばらくの間赤く点灯する場合がありますが、消灯すれば異常ではありません。

■ **ステアリング制御警告灯**

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。エンジン回転中、パワーステアリングの電子制御システムに異常があると点灯します。



運転するとき

 **注意**

ステアリング制御警告灯が点灯しているときは、ハンドル操作が重くなる場合があります。気をつけて運転し、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

■ **キー無し警告灯**
(タイプAメーター：キーレスアクセス&プッシュスタート



装備車)

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。
 車内にアクセスキーがない場合に点滅します。

☆2-16ページ参照

 **アドバイス**

タイプBメーターにはキー無し警告灯はありません。警告などを検知すると、マルチインフォメーションディスプレイに割り込み画面が表示されます。

☆3-49ページ参照

■アイドリングストップ警告灯/ アイドリングストップOFF表示灯 (黄色)



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。

アイドリングストップOFFスイッチを押してシステムを解除すると、点灯します。アイドリングストップシステムに異常があるとき点滅します。

☆3-84、3-85ページ参照

マルチインフォメーションディスプレイ

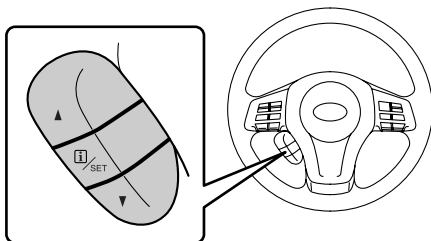
タイプBメーターの表示部は、運転経過時間などを表示することができます。また、警報や異常などを検知したときに割り込み画面表示により対処法を表示したり、各種項目の設定(カスタマイズ)が行えます。

■操作スイッチ

●▲(戻し)スイッチ/▼(送り)スイッチ

次の場合に使用します。

- マルチインフォメーションディスプレイの表示画面を切り替えるとき
- メーターの初期作動など、各種項目の設定を変更するとき



S00547

● (インフォメーション) スイッチ/SETスイッチ

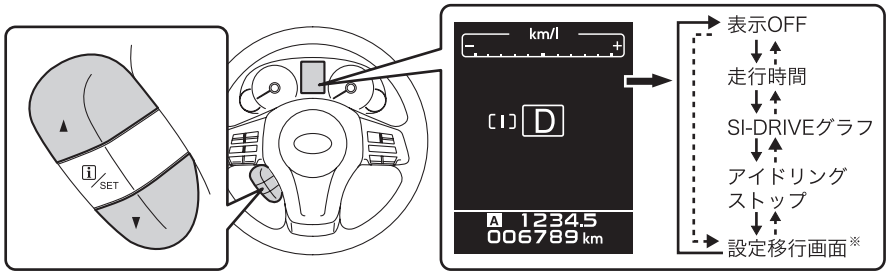
次の場合に使用します。

- マルチインフォメーションディスプレイの割り込み画面を再表示するとき
- メーターの初期作動など、各種項目の設定を変更するとき

■画面の切り替えかた

▲▼スイッチを手前に引いて切り替えます。

- ←---: ▲ (戻し) スイッチ
- --->: ▼ (送り) スイッチ



302251

※ 停車時、セレクトレバーがPでiマークが点灯していないとき表示されます。

🏠 アドバイス

工場出荷時（初期設定）は表示OFFとなっています。

●走行時間

エンジンスイッチをONにしてから経過した時間を表示します。表示範囲は00' (00分) ~ 99h59' (99時間59分) です。



302310

🏠 アドバイス

走行時間以外の画面を表示している場合も、走行時間はエンジンスイッチをOFFまたはAccにするまで継続してカウントされます。

運転するとき

●SI-DRIVEグラフ

選択しているモードのレスポンスを表すグラフを表示します。

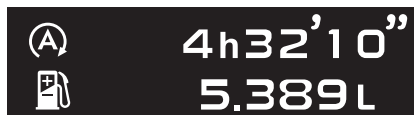


302311

●アイドリングストップ

トリップメーターをリセットしてからの、アイドリングストップ作動した積算時間と節約した燃料の目安を表示します。トリップA、トリップBそれぞれについて表示します。表示範囲は次の通りです。

- 積算時間：00'00" (00分00秒) ~9999h59'59" (9999時間59分59秒)
- 燃料節約量：0ml~9999.999L



302312



アドバイス

- トリップAまたはトリップBをリセットすると、積算時間および燃料節約量もリセットされます。
- アイドリングストップ作動によるエンジン停止中も、走行時間はカウントを続けます。

●設定移行画面

各種項目の設定を変更することができます。

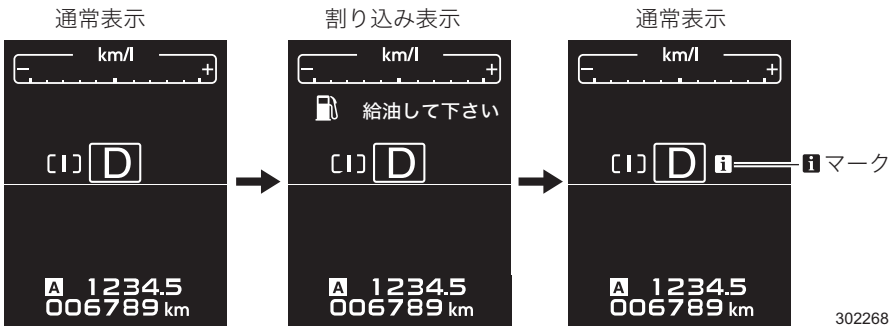
☆3-54ページ参照



302313

■割り込み画面

警報や異常などを検知すると、マルチインフォメーションディスプレイに割り込み画面が表示されます。画面によっては、表示と同時にブザーが鳴ります。

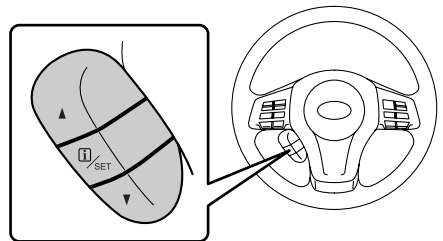


302268

割り込み画面が表示された場合、画面一覧を参照し、必要な処置を行ってください。

表示画面1、表示画面2の順に表示します。

i マークが点灯しているときに **i** (インフォメーション) /SETスイッチを引くと、割り込み画面を再表示することができます。



S00547

運転するとき

●画面一覧（警告表示）

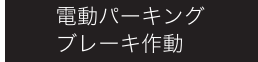
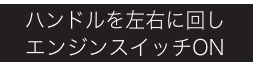
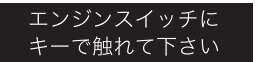
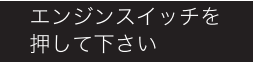
項目	表示画面1	表示画面2	iマーク
運転席、助手席 シートベルト警告	 シートベルトを 着用して下さい DP1009	—	有り (赤色)
電動パーキング ブレーキ未解除	 駐車ブレーキを 解除して下さい DP1010	—	有り (赤色)
SI-DRIVEモード 切り替え禁止	 SI-DRIVE システム点検 DP1011	販売店で点検を 受けて下さい DP1001	無し
ブレーキシステム (EBD) 警告	 ブレーキ システム点検 DP1012	直ちに停車し 販売店へ連絡 DP1013	有り (赤色)
ブレーキ液量 低下警告	 ブレーキ 液量低下 DP1014	直ちに停車し 販売店へ連絡 DP1013	有り (赤色)
エンジン警告	 エンジン システム点検 DP1015	販売店へ 連絡して下さい DP1016	有り (黄色)
ABS警告	 ABS点検 DP1017	販売店で点検を 受けて下さい DP1001	有り (黄色)
ステアリング 制御警告	 ステアリング制御 システム点検 DP1018	販売店で点検を 受けて下さい DP1001	有り (赤色)
電動パーキング ブレーキ警告	 電動パーキング ブレーキシステム点検 DP1019	直ちに停車し 販売店へ連絡 DP1013	有り (黄色)

項目	表示画面1	表示画面2	i マーク
水温警告	 オーバーヒート DP1020	販売店へ 連絡して下さい DP1016	有り (赤色)
VDC警告	 VDC システム点検 DP1021	販売店で点検を 受けて下さい DP1001	有り (黄色)
トランスミッション 警告	 トランスミッション システム点検 DP1022	販売店で点検を 受けて下さい DP1001	有り (黄色)
AT油温警告	 AT OIL TEMP トランスミッション 油温上昇 DP1023	販売店へ 連絡して下さい DP1016	有り (赤色)
AWD警告	 AWD システム点検 DP1024	販売店で点検を 受けて下さい DP1001	有り (黄色)
SRSエアバッグ 警告	 SRSエアバッグ システム点検 DP1025	直ちに停車し 販売店へ連絡 DP1013	有り (赤色)
キーレスアクセス& プッシュスタート 警告	 キーレスアクセス システム点検 DP1026	販売店で点検を 受けて下さい DP1001	無し
キーバッテリー 残量警告	 キーの電池を交換 して下さい DP1027	—	無し

運転するとき

項目	表示画面1	表示画面2	i マーク
キー無し警告	 キーが 見つかりません DP1028	☆ 状況と処置については、キーレスアクセス&プッシュスタートシステムの「警告音と警告表示」(2-16、3-60ページ)を参照してください。	無し
電源切り忘れ警告	電源をOFF して下さい DP1029		無し
キー置き忘れ警告	 車室内に キーがあります DP1030		無し
アイドリング ストップ警告	 システム点検 DP1031	販売店で点検を 受けて下さい DP1001	有り (黄色)
ランプ消し忘れ 警告	ランプが 点灯しています DP1032	—	無し
半ドア警告	 ドアが 開いています DP1033	—	無し
燃料残量警告	 給油して下さい DP1034	—	有り (黄色)

●画面一覧（操作方法）

項目	表示画面1	表示画面2	 マーク
電動パーキング ブレーキ作動	 電動パーキング ブレーキ作動 DP1035	—	無し
SI-DRIVE冷態時 S#モード切り替え 禁止	 S#への切り替えが できません DP1036	 エンジンが 暖まっていません DP1037	無し
シフトポジション 要求警告	 P↑ Pレンジに 入れて下さい DP1038	—	無し
ステアリングロッ ク 未解除	 ハンドルのロックが 解除されていません DP1039	 ハンドルを左右に回し エンジンスイッチON DP1040	無し
エマージェンシー 操作	 始動時はブレーキを 踏みながら DP1041	 エンジンスイッチに キーで触れて下さい DP1042	無し
始動時ブレーキ 要求	 始動時はブレーキを 踏みながら DP1043	 エンジンスイッチを 押して下さい DP1044	無し
バッテリー保護 自動電源OFF	 バッテリー保護のため 電源をOFFしました DP1045	—	無し

運転するとき

■カスタマイズ機能

マルチインフォメーションディスプレイで次の項目の設定を変更することができます。

項目		設定	初期設定
画面設定	ウェルカム・グッバイ画面	ON/OFF/戻る	ON
	メーター初期作動	ON/OFF/戻る	ON
	言語	日本語/English/戻る	日本語
EyeSight※	警報音量	大/中/小/戻る	大
	先行車捕捉音	ON/OFF/戻る	ON
	先行車発進お知らせ	ON/OFF/戻る	ON
設定リセット		いいえ/はい	—

※ EyeSight装備車のみ。詳細は「EyeSight取扱説明書」を参照してください。

●カスタマイズのしかた

エンジンスイッチがONで停車中、セレクトレバーが[P]で*i*マークが点灯していないときに操作できます。

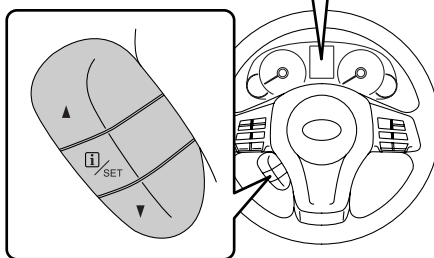
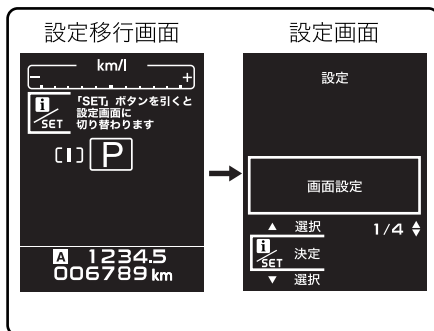
- ① ▲▼スイッチを手前に引いて、“設定移行画面”を表示します。

i (インフォメーション) /SETスイッチを引くと、設定画面に切り替わります。

- ② ▲▼スイッチを手前に引いて“画面設定”を選択し、**i** (インフォメーション) /SETスイッチを引いて決定します。
画面設定画面に切り替わります。

画面の表示にそって、次のスイッチを操作してください。

- 選択：▲ (戻し) スイッチ
▼ (送り) スイッチ
- 決定：**i** (インフォメーション) /SET スイッチ



S00545

▼ウェルカム・グッバイ画面の設定

ウェルカム画面、グッバイ画面の表示あり (ON) / 表示無し (OFF) を設定することができます。

▼メーター初期作動の設定

メーター初期作動 (スリーブ機能) の作動あり (ON) / 作動無し (OFF) を設定することができます。

▼言語の設定

マルチインフォメーションディスプレイの表示言語を日本語または英語に設定することができます。

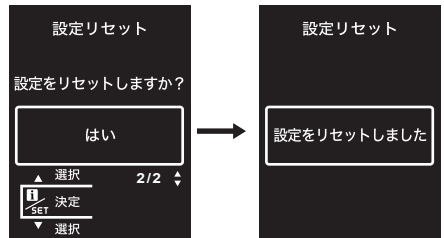
🏠 アドバイス

- “戻る” を選択すると、一つ上の階層に戻ります。
- 約30秒間スイッチが操作されなかった場合、カスタマイズがキャンセルされ、“設定移行画面”に戻ります。
- セレクトレバーを **[P]** 以外にするとカスタマイズがキャンセルされ、“表示OFF”に戻ります。

●設定を工場出荷時 (初期状態) に戻すとき

エンジンスイッチがONで停車中、セレクトレバーが **[P]** で **i** マークが点灯していないときに操作できます。

- ① ▲▼スイッチを手前に引いて、“設定移行画面”を表示します。
i (インフォメーション) / SETスイッチを引くと、設定画面に切り替わります。
- ② ▲▼スイッチを手前に引いて“設定リセット”を選択し、**i** (インフォメーション) / SETスイッチを引いて決定します。
- ③ ▲▼スイッチで“はい”を選択し、**i** (インフォメーション) / SETスイッチで決定します。



302269

●カスタマイズのキャンセル

次の場合、カスタマイズがキャンセルされ“設定移行画面”に戻ります。

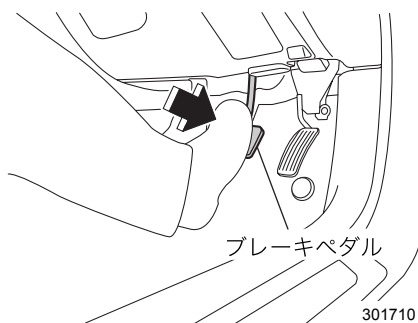
- **i** (インフォメーション) / SETスイッチを手前に引き続けたとき
- エンジンスイッチをOFFにしたとき
- 約30秒間スイッチが操作されなかったとき

運転装置の使いかた

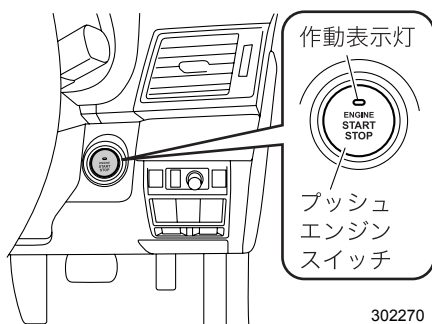
エンジンの始動と停止のしかた (キーレスアクセス&プッシュスタート装備車)

■エンジンの始動

- ① アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
- ② 電動パーキングブレーキスイッチを引き、電動パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ③ セレクトレバーが[P]であることを確認します (Nでも始動できますが、安全のためPで始動してください)。
- ④ プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が緑色になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます (Nで始動する場合、作動表示灯は緑色になりません)。



- ⑤ ブレーキペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。エンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。



警告

- 車外からのエンジン始動は絶対に行わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中エンジンを止めると触媒が過熱して焼損することがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒の原因になるおそれがあります。
- エンジンの始動操作をしたときに、プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が緑色に点滅している場合は、けん引等も含め絶対に車両の移動はしないでください。ステアリングロックが解除されていない状態のため、ハンドル操作ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が橙色に点滅しているときは、車両の異常が考えられます。直ちにスバル販売店にご連絡ください。
- エンジンを始動するときは必ず運転席に座って行ってください。
- 10秒以上プッシュエンジンスイッチを押し続けしないでください。スターターが回り続けるため、故障の原因になります。

アドバイス

- エンジン始動操作をしたとき、プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が緑色に点滅しているときは、ステアリングロックが解除されています。
- ☆3-3ページ参照
- エンジンが始動していないときは、ブレーキペダルが硬く感じる場合があります。そのときは通常よりも強くブレーキペダルを踏んでスイッチ内の作動表示灯が緑色になることを確認してからプッシュエンジンスイッチを押し、エンジンを始動してください。
 - ブレーキペダルを踏みながらプッシュエンジンスイッチを押すと最大 10 秒間スターターが回ります。エンジンが始動するとスターターは止まります。
 - 3.6L車およびCVT車は、停車時にアクセルを踏み込んでも、エンジンが高回転まで上がらないようになっています。
 - エンジンの始動直後は、急激な空吹かしや、急加速などをしないでください。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- エンジンがかかった後は水温計の指針が中央付近になるまでの間、または水温表示灯（青色）が点灯している間、アイドリング回転が高めに保たれます。暖機が終わると自動的に下がります。
- 使用するガソリンや使用状態（水温計の指針が動かない、または水温表示灯（青色）が消灯しない程の距離の走行を繰り返す）によっては、エンジンがかかりにくくなることがまれに発生します。その場合、他ブランドのガソリンに切り替えることをお奨めします。
- 始動の際、電装品をOFFにした方が、容易に始動します。
- エンジン始動時にセキュリティ表示灯が点灯してエンジンがかからない場合は、一度プッシュエンジンスイッチを押して電源をOFFにしてから、再度エンジン始動を行ってください。
- エンジンが始動しない場合は、ブレーキペダルから足を離し、プッシュエンジンスイッチを押して一度電源をOFFに戻してください。10秒間放置してからもう一度ブレーキペダルを強く踏みながら、プッシュエンジンスイッチを押してください。
- 周辺の電波状況により、通常手順のドアの施錠・解錠およびエンジン始動ができないことがあります。そのときは、「アクセスキーが正常に作動しないとき」を参照してドアの施錠・解錠およびエンジン始動を行ってください。

☆8-65ページ参照

- バッテリー交換などでバッテリー端子を再接続した直後は、エンジンが始動しないことがあります。その場合はエンジンスイッチをONにし、10秒以上経過してからエンジンを始動してください。エンジン始動直後はアイドリングが不安定になることがありますが、異常ではありません。
- 極低温時に、リモコンエンジンスターターを使用すると、始動できない場合もあります。また、純正以外のリモコンエンジンスターターを使用すると、エンジンがかかりにくい場合や、スパークプラグのくすぶりを引き起こすことがあります。
- 急発進、急加速時など、急なアクセル操作時、まれにエンジンから過渡的なノッキング音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

緊急時のエンジン始動方法

通常手順のエンジン始動でエンジンが始動しないときは、次の方法を行ってください。エンジンが始動する場合があります。（緊急時以外は、この方法でエンジンを始動しないでください。）

- セレクトレバーを **[P]** にします。電源をAccにしてブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを約15秒以上押し続けてください。

■エンジンの停止

車両を完全に停止させ、プッシュエンジンスイッチを押してください。このときエンジンが停止し、エンジンスイッチの電源がOFFになります。

ただし、セレクトレバーを[P]に入れてからエンジンスイッチを押さないと電源がOFFになりません。

警告

- 走行中はプッシュエンジンスイッチにさわらないでください。
プッシュエンジンスイッチを約3秒以上押し続ける、またはすばやく3回以上連続で押すとエンジンが停止します。エンジンが停止するとブレーキブースター（制動力倍力装置）が効かなくなり、ペダルを踏むときに通常より強い力が必要となります。
また、パワーステアリング機能が働かずハンドル操作が重くなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中にエンジンが停止した場合、安全な場所で車両が停止するまでプッシュエンジンスイッチを操作したり、ドアを開けたりしないでください。ステアリングロックが作動する可能性があり危険です。安全な場所に停止させた後、直ちにスバル販売店にご連絡ください。

注意

セレクトレバーが[P]以外でエンジンを停止しないでください。[P]以外でエンジンを停止した場合、電源は Acc になるためそのまま放置するとバッテリー上がりの原因となります。

アドバイス

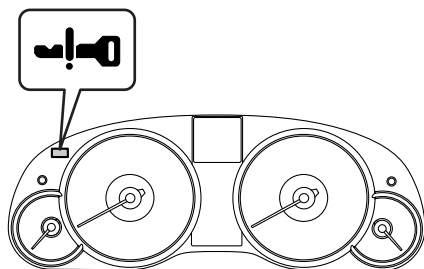
走行中、プッシュエンジンスイッチを約3秒以上押し続ける、またはすばやく3回以上連続で押すと、エンジンを停止させることができます。緊急時以外は走行中にエンジンを停止させないでください。

■警告音および警告表示

キーレスアクセス&プッシュスタートでは誤操作などを防止するため警告音、メーター内の警告灯やマルチインフォメーションディスプレイの表示、またはプッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯の点滅により警告します。

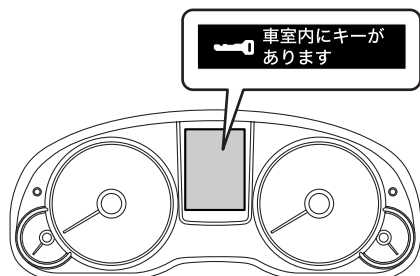
この場合は適切な処置を行ってください。

タイプAメーター



201760

タイプBメーター



202253

●警告一覧表

タイプBメーターにはキー無し警告灯はありません。警告などを検知すると、マルチインフォメーションディスプレイに割り込み画面が表示されます。

☆3-49ページ参照

室内ブザー 警報	室外ブザー 警報	メーター内 キー無し 警告灯	プッシュ エンジン スイッチ内 作動表示灯	状況	対処方法
ポーン	—		—	キーレスアクセス&プッシュスタート機能を、アクセスキーを使用して停止させた状態でプッシュエンジンスイッチを押した。	機能を復帰させるか、「アクセスキーが正常に作動しないとき」の方法でエンジン始動させてください。
ポーン	—		—	車内にアクセスキーがない状態でプッシュエンジンスイッチを押した。	アクセスキーを携帯してプッシュエンジンスイッチを押してください。
ポーン	—	—	—	電源をOFFにした。	アクセスキーの電池残量が低下しているので、電池を交換してください。

室内ブザー 警報	室外ブザー 警報	メーター内 キー無し 警告灯	プッシュ エンジン スイッチ内 作動表示灯	状況	対処方法
—	—	—	緑点滅 (最長15 秒間)	エンジン始動操作をしたが、ハンドルのロックが解除されていない。	ハンドルを軽く左右に回しながら、ブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを押してください。
—	—	—	橙点滅	電源システムやステアリングロックの異常が検出された。	直ちにスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

エンジンの始動と停止のしかた (キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外)

■エンジンの始動

- ① 電動パーキングブレーキスイッチを引き、電動パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ② セレクトレバーが **P** であることを確認します。(**N** でも始動できますが、安全のため **P** で始動してください。)
- ③ 運転席に座り、ブレーキペダルを踏みます。
- ④ エンジンスイッチにキーを差し込みSTARTまでスイッチを回します。このとき、アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回します。(10秒以内)

警告

車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒の原因になるおそれがあります。

注意

- エンジンを始動するときは必ず運転席に座って行ってください。
- 10秒以上スターターを回し続けしないでください。スターターが故障する原因になります。かからないときは、一旦スイッチをOFFに戻し、10秒間放置してからもう一度エンジンスイッチを回し、スターターを回してください。

アドバイス

- 2.5LのCVT車は、停車時にアクセルを踏み込んでも、エンジンが高回転まで上がらないようになっています。
- エンジンの始動直後は、急激な空吹かしや、急加速などをしないでください。
- エンジンがかかった後は水温表示灯（青色）が点灯している間、アイドル回転が高めに保たれます。暖機が終わると自動的に下がります。
- エンジンがかかりづらいときは、電動パーキングブレーキを再確認後、アクセルペダルをわずかに（1/4程度）踏み込んで、エンジンスイッチをSTARTに回します。エンジンがかからない場合はアクセルペダルをいっぱい踏み込んでエンジンスイッチをSTARTに回してください。エンジンがかかったらすみやかにアクセルペダルから足を離してください。それでもかからないときは、もう一度アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをSTARTに回してください。エンジンがかからなければスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。
- 使用するガソリンや使用状態（水温表示灯（青色）が消灯しない程の距離の走行を繰り返す）によっては、エンジンがかかりにくくなることがまれに発生します。その場合、他ブランドのガソリンに切り替えることをお勧めします。
- 始動の際、電装品をOFFにした方が、容易に始動します。
- 極低温時に、リモコンエンジンスターターを使用すると、始動できない場合もあります。また、純正以外のリモコンエンジンスターターを使用すると、エンジンがかかりにくい場合や、スパークプラグのくすぶりを引き起こすことがあります。
- 急発進、急加速時など、急なアクセル操作時、まれにエンジンから過渡的なノッキング音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■エンジンの停止

エンジン回転数がアイドル状態まで下がってから、エンジンスイッチを切ります。

アドバイス

車両が停止した直後は、エンジン回転数がアイドル状態に戻るまで時間が多少かかることがあります。

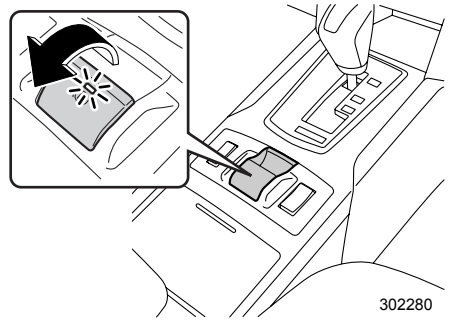
電動パーキングブレーキ

電動パーキングブレーキは、電気モーターでパーキングブレーキをかけるシステムです。エンジンスイッチの位置に関係なくかけることができます。エンジンスイッチがONのときに解除できます。

■電動パーキングブレーキスイッチでの操作

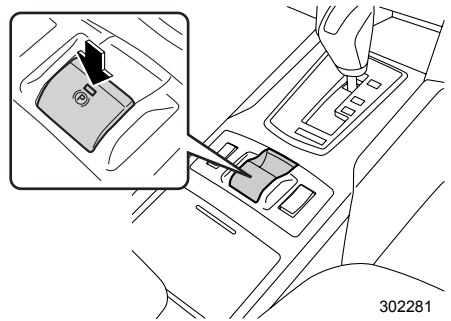
●かけるとき

ブレーキペダルを踏み、電動パーキングブレーキスイッチを引きます。このとき、メーター内のブレーキ警告灯（赤色）および電動パーキングブレーキスイッチ内の作動表示灯が点灯します。



●解除するとき

ブレーキペダルを踏み、電動パーキングブレーキスイッチを押します。このとき、メーター内のブレーキ警告灯（赤色）および電動パーキングブレーキスイッチ内の作動表示灯が消灯します。



🏠 アドバイス

電動パーキングブレーキが作動している場合、アイドリングストップは作動しません。

■自動制御による機能

●アクセル自動解除機能

電動パーキングブレーキがかかっているとき、次の場合にアクセルペダルを踏み込むと、電動パーキングブレーキが自動的に解除されます。このとき、メーター内のブレーキ警告灯（赤色）および電動パーキングブレーキスイッチ内の作動表示灯が消灯します。

- 全てのドアが閉まっている。
- 運転席シートベルトを装着している。

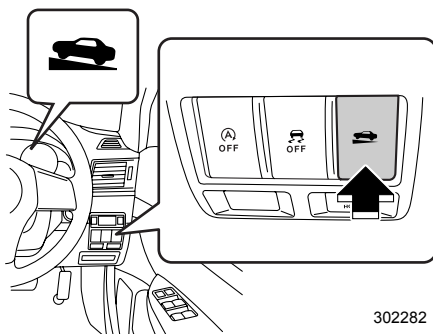
●ヒルホールド機能

上り坂でブレーキペダルを踏んで停車したとき、約1秒後に自動的に電動パーキングブレーキが作動する機能です。このとき、メーター内のブレーキ警告灯（赤色）および電動パーキングブレーキスイッチ内の作動表示灯が点灯します。

▼ヒルホールドスイッチ

スイッチを押すとヒルホールド機能がONになります。

このとき、メーター内のヒルホールド表示灯が点灯します。OFFにするにはもう一度スイッチを押します。



302282

警告

- システム異常により、電動パーキングブレーキが作動しないときは、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店にご連絡ください。やむなく駐車する場合は、水平な場所に停車し、セレクトレバーを[P]にして輪止め（タイヤストッパー）をしてください。
- セレクトレバーが[P]に入らない場合は、エンジンスイッチをONからAcc[※]にし、ブレーキペダルを踏みながら[P]へ操作してください。（60秒以内）
※ キーレスアクセス&プッシュスタート装備車は、[P]以外でエンジン回転中にエンジンスイッチを押してエンジンを停止させた電源状態がAccになります。
- 走行するときは電動パーキングブレーキを解除し、ブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。システムに異常があり、電動パーキングブレーキが作動したまま走行すると、ブレーキ部品が早く磨耗する場合や、後輪ブレーキが過熱して効かなくなることがあります。

⚠ 注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを停止してください。電動パーキングブレーキが解除され、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 上り坂での停車時は、ブレーキ警告灯が点灯したことを確認してからブレーキペダルを離してください。ヒルホールド機能が作動せず思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ブレーキシステム（フットブレーキ）が故障した場合は、非常ブレーキとして電動パーキングブレーキスイッチを引き続けることで車両を停止させることができます。
非常ブレーキを使用中は、メーター内のブレーキ警告灯およびスイッチ表示灯が点灯し、ブザーが鳴ります。
- 非常ブレーキの使用は、緊急時のみにしてください。過度に使用するとブレーキ部品が早く摩耗したり、後輪ブレーキが過熱して効かなくなることがあります。

🏠 アドバイス

- 電動パーキングブレーキはモーターの作動によりパーキングブレーキをかけるシステムのため、作動時にモーター音が聞こえます。
かけるとき／解除するときはモーター音が聞こえることも確認してください。
セレクトレバーを操作したとき、またはブレーキペダルを操作したときにもモーター音が聞こえることがあります。これは電動パーキングブレーキシステムが自動的にモーターを制御している音で正常です。
- 電動パーキングブレーキはブレーキペダルを踏まないと解除できません。
- システム異常などによりかける／解除ができない場合、電動パーキングブレーキスイッチを操作するとブレーキ警告灯が点滅し、ブザーが鳴ります。
- スイッチ操作を途中で止めた場合や、極端にゆっくり操作した場合はシステムが異常を検知し警告灯が点灯することがあります。この場合は、一度エンジンスイッチを切り、再度エンジンを始動すれば元に戻ります。
- ゆるやかな坂道では、ヒルホールド機能が作動しない場合があります。その場合は、手で電動パーキングブレーキをかけてください。
- ブレーキペダルを確実に踏み込まずに停車した場合、ヒルホールド機能が作動しない、または作動が遅くなる場合がありますが異常ではありません。ブレーキペダルを確実に踏んで停車し、ブレーキ警告灯が点灯したことを確認してからブレーキペダルを離してください。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

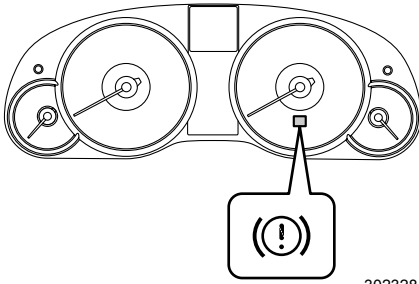
- 路面状態、ブレーキの踏み加減によっては一時的に車両が保持されたり、ブレーキペダルが硬くなったりして通常の間感と異なることがあります
が異常ではありません。
- ヒルホールド機能が ON のときにシステムに異常が発生した場合は、ブザーが鳴りヒルホールド表示灯が消灯します。また、電動パーキングブレーキ警告灯が点灯します。
- ヒルホールド作動後、電動パーキングブレーキを解除したまま停車し続けた場合は、再度作動しません。その場合は、手で電動パーキングブレーキをかけてください。
- ヒルホールドスイッチを 30 秒以上押し続けるとメーター内のヒルホールド表示灯が消灯および電動パーキングブレーキ警告灯が点灯し、以後の操作を受け付けなくなりますが、正常です。
この場合は一度エンジンスイッチをOFFにし、再度エンジンを始動すれば元に戻ります。
- 電動パーキングブレーキ警告灯が点灯しているとき、ヒルホールド機能を ON にできません。この場合、ヒルホールドスイッチを押すとブザーが鳴ります。
- アイドリングストップ中に電動パーキングブレーキブレーキスイッチを操作すると、アイドリングストップの作動が解除され、エンジン再始動後に電動パーキングブレーキが作動します。ブレーキ警告灯が点灯したことを確認し、ブレーキペダルから足を離してください。
- エンジン始動時またはアイドリングストップ後のエンジン再始動時に電動パーキングブレーキスイッチを操作すると、一時的にブレーキ警告灯が点滅することがあります。電動パーキングブレーキを解除し、ブレーキ警告灯が消灯すれば異常ではありません。

■ 電動パーキングブレーキ警告灯（黄色）

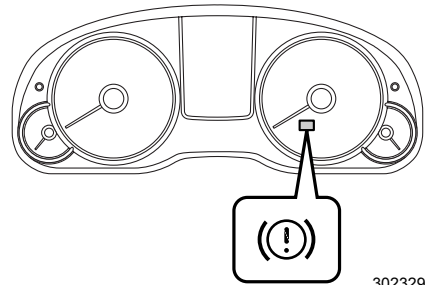
エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。
システムに異常があるときは、警告灯が点灯します。

タイプAメーター

タイプBメーター



302328



302329

⚠ 警告

警告灯が点灯し続ける場合はシステムに異常がありますので、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店にご連絡ください。

🏠 アドバイス

警告灯が次の場合は正常です。

- エンジン始動後に警告灯が点灯したままであるが、その後電動パーキングブレーキを解除したときに消灯し、再度点灯しない。
- 走行中に点灯しても、その後直ちに消灯し、再度点灯しない。

オートマチック車およびCVT車の運転




セレクトレバー

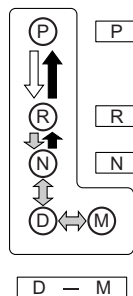
■各位置での働きと操作方法

 (パーキング)	駐車およびエンジン始動位置	駐車するときは必ず電動パーキングブレーキをかけて[P]にしてください。
 (リバース)	後退位置	ブザーが鳴り、運転者に[R]であることを知らせます。
 (ニュートラル)	中立位置	
 (ドライブ)	通常走行位置	車速およびアクセルペダルの踏み込みに応じて自動的に変速します。
 (マニュアル)	マニュアルモード走行位置	手動で変速するときに使用します。 ☆3-77ページ参照

☆1-11ページ参照

レバーは各位置でしっかりと止まるところまで確実に動かしてください。

	ブレーキペダルを踏まないで操作できません。ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押して操作します。
	ボタンを押して操作します。
	ボタンを押さずに操作します。



301439

警告

発進時は、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーの操作を絶対に行わないでください。急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

- セレクトレバー周辺に物を置かないでください。誤操作の原因となります。
- **P**でエンジンをかけてください。
Nでもエンジンはかかりますが、安全のため**P**でかけてください。
- **P**、**R**に入れるときは、車が完全に止まってからセレクトレバーを操作してください。トランスミッションを損傷させるおそれがあります。
- **P**以外の状態で長時間放置すると、バッテリー上がりの原因になります。
- 切り返しするとき、**D**→**R**、**R**→**D**と何度もレバーを操作するときは、その都度ブレーキペダルをしっかりと踏み、車を完全に止めてから行ってください。
- 後退した後は、すぐに**R**から**N**に戻す習慣をつけてください。
- ATフルードまたはCVTフルードの油温が通常時より高い場合、AT油温警告灯が点灯します。

☆3-41ページ参照

アドバイス

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- **P**のとき、先にセレクトレバーを手前に引いてブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチがLOCK (OFF) またはAccのときは、ブレーキペダルを踏んでもレバーを**P**から他の位置に切り替えられません。

■ オートマチック車およびCVT車の制御

セレクトレバーが**D**での走行時、スムーズな走りを実現するための制御を行います。

アドバイス

- 3.6L車およびCVT車は、停車時にアクセルを踏み込んでも、エンジンが高回転まで上がらないようになっています。
- 低水温時に暖機促進や走行性を良くするため、変速タイミングを通常時より高回転側にしています。(暖機が進むと、自動的に通常の変速タイミングに戻ります。)

●オートマチック車

- Nコントロール（I選択時）
車が完全に停止した後、セレクトレバーがDのままアイドル状態でブレーキペダルをしっかりと踏んでいると、ギヤがニュートラル状態になります。
- 登坂制御
登坂での不要なシフトアップ・シフトダウンを防ぎます。
- コーナリング制御
横Gが大きいときは加速中でもシフトアップしません。
- ブレーキング制御（SまたはS#選択時）
コーナーの入り口などでブレーキを強く踏むと自動的にシフトダウンし、再加速性能を高めます。
- アクセル急戻し制御（S#選択時）
加速中、コーナー手前などでアクセルを急に戻してもシフトアップしません。

●CVT車

- Nコントロール（アイドルストップ装備車以外：I選択時）
車が完全に停止した後、セレクトレバーがDのままアイドル状態でブレーキペダルをしっかりと踏んでいると、ギヤがニュートラル状態になります。
- 登坂制御（2.0L車：S#選択時）
登坂での不要なシフトアップ・シフトダウンを防ぎます。
- コーナリング制御（2.0L車：S#選択時）
横Gが大きいときは加速中でもシフトアップしません。
- ブレーキング制御（2.0L車：S#選択時）
コーナーの入り口などでブレーキを強く踏むと自動的にシフトダウンし、再加速性能を高めます。
- アクセル急戻し制御（2.0L車：S#選択時）
加速中、コーナー手前などでアクセルを急に戻してもシフトアップしません。
- 登降坂制御（2.0L車：IまたはS選択時、2.5L車）
走行中の路面勾配による駆動力とエンジンプレーキ力を最適に制御し、登坂、降坂での運転をアシストします。
- アダプティブ制御（2.0L車：IまたはS選択時、2.5L車：SまたはS#選択時）
コーナリングの強さや連続性、アクセル操作などからスポーツ走行と判定した場合は、エンジンを高い回転数に保つことでエンジンプレーキの効きを高め、アクセルを踏んだときのレスポンスを向上させます。

 **アドバイス**

- 急な登り坂の連続運転など、継続的に負荷のかかる走行を行った場合、車両の冷却性能を維持するためエンジン回転数または車速が自動的に低下することがあります。
負荷が低下し、冷却性能を維持できる状態に戻るとエンジン回転数または車速は元に戻ります。
- 2.0L 車は、S#（スポーツシャープモード）を選択すると、トランスミッションの変速比が無段変速から8段変速に切り替わります。

■シフトロックシステム

セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- **[P]**からのレバー操作は、エンジンスイッチを ON にしブレーキペダルを踏まないとできません。
- セレクトレバーを**[P]**から他の位置に操作するとき、先にセレクトレバーを手前に引いてからブレーキペダルを踏むと、レバー操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏み、レバー操作をしてください。
- **[P]**以外ではエンジンスイッチからキーが抜けず、またはエンジンスイッチをOFFにできません。
(**[P]**以外ではエンジンスイッチをAcc[※]からLOCKまたはOFFにできません)
- **[N]**でエンジンを停止した場合、しばらくするとレバーを**[P]**に操作することができなくなる場合がありますので直ちにブレーキペダルを踏みながら**[P]**にしてください。
もし、セレクトレバーを**[N]**から**[P]**に操作できないときは、エンジンスイッチをONにし、ブレーキペダルを踏みながら**[P]**へ操作してください。
- エンジンスイッチがONで操作できないときは、エンジンスイッチをONからAcc[※]にし、ブレーキペダルを踏みながら**[P]**へ操作してください。(60秒以内)
エンジンスイッチがONで操作できないときは、シフトロックシステムなどの異常が考えられます。直ちにスバル販売店にご連絡ください。

※ キーレスアクセス&プッシュスタート装備車は、**[P]**以外でエンジン回転中にエンジンスイッチを押してエンジンを停止させた電源状態がAccになります。

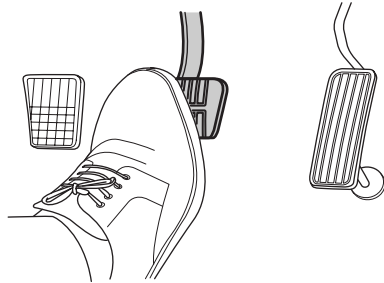
運転手順

■エンジンをかける前に

- ①正しい運転姿勢をとります。ペダルを確実に踏むことができ、ハンドル操作が楽にできるように、ハンドルの位置、シートの位置を調整してください。
- ☆2-48、2-88ページ参照
- ②アクセルペダルの位置を右足で確認します。
 - ③ブレーキペダルの位置を右足で確認します。

⚠ 注意

踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認して足に覚えさせてください。
(踏み間違いは事故につながるおそれがあります。)



301531

■エンジン始動

- ①電動パーキングブレーキスイッチを引き、電動パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ②セレクトレバーが[P]であることを確認します。

⚠ 注意

エンジンは[N]でも始動できますが、安全のため[P]で行ってください。

<キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外>

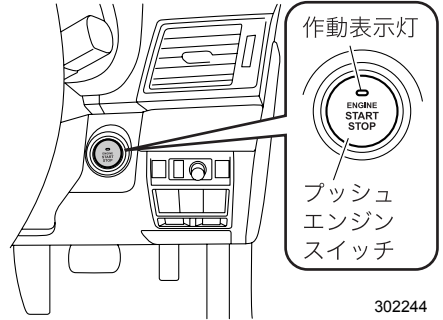
- ③ブレーキペダルを右足で踏んだまま（アクセルペダルは踏まないこと）
- ④エンジンスイッチをSTARTにし、エンジンを始動します。

🏠 アドバイス

- エンジンがかかりにくいときにアクセルペダルを踏みながら始動する場合は、始動してすぐブレーキペダルに踏み換えてください。
- 停車時にアクセルを踏み込んでも、エンジンが高回転まで上がらないようになっています。

<キーレスアクセス&プッシュスタート装備車>

- ③ プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が緑色になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます（**N**で始動する場合、作動表示灯は緑色になりません）。
- ④ ブレーキペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。エンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。



302244

アドバイス

3.6L車およびCVT車は、停車時にアクセルを踏み込んでも、エンジンが高回転まで上がらないようになっています。

■ 発進

- ① ブレーキペダルを右足で踏んだままにします。

警告

セレクトレバーは確実にブレーキペダルを踏んで操作してください。アクセルペダルを踏んだまま操作すると急発進して重大な事故につながるおそれがあります。

- ② セレクトレバーを**D**(前進)または**R**(後退)に入れます。
- ③ セレクトレバーの位置を確認します。
- ④ 電動パーキングブレーキスイッチを押して、電動パーキングブレーキを解除します。
- ⑤ 右足をブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えゆっくりと加速します。

注意

- エンジン始動直後やエアコン作動時、または停車時にハンドルを操作するとアイドリング回転が高くなり、クリープ（車が動きだす）現象が強くなります。確実にブレーキペダルを踏んでください。

☆1-11ページ参照

- 後退するときには車の後方に人がいないこと、障害物がないことを確認してください。車内にブザーは鳴りますが、車外の人には聞こえません。

アドバイス

アクセルペダルを踏むと電動パーキングブレーキが自動解除されるアクセル自動解除機能があります。

☆3-64ページ参照

■ 走行

通常の走行：

Dで走行します。アクセルとブレーキの操作だけで自動的に変速され走行できます。

急加速：

アクセルペダルを深く踏み込みます。自動的にシフトダウンし加速します。(キックダウン)

☆1-11ページ参照

上り坂では：

アクセルペダルを深く踏み込みます。自動的にシフトダウンし加速します。

また、セレクトレバーを**M**にし、勾配に適したギヤを選択するとなめらかな走行ができます。

☆3-77ページ参照

下り坂では：

エンジnbrakeを併用してください。セレクトレバーが**D**または**M**で、パドルシフトの⊖側レバーを手前に引くとシフトダウンします。

☆3-77ページ参照

急な下り坂では：

パドルシフトの⊖側レバーを手前に引いて2速または1速に入れると、さらに強いエンジンブレーキがかかります。

☆3-77ページ参照

警告

走行中はセレクトレバーを**N**にしないでください。エンジnbrakeがまったく効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。


注意

シフトダウンによる急激なエンジnbrakeは、道路状況や車間距離に注意して行ってください。

アドバイス

急発進、急加速など、急なアクセル操作時にはまれにエンジンから過渡的なノッキング音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■ 停車



- ① のままブレーキペダルを確実に踏みます。



注意

エンジン始動直後やエアコン作動時、または停車時にハンドルを操作するとアイドリング回転が高くなり、クリーブ（車が動きだす）現象が強くなります。確実にブレーキペダルを踏んでください。

☆1-11ページ参照

アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、坂道で、以外に入れた状態で、アクセルを吹かしながら車を停止させたりしないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

- ② 必要に応じて電動パーキングブレーキをかけます。
③ 長時間停車するときはにします。
④ 停車後、再発進するときは、セレクトレバーがにあることを確認して発進します。


注意

- 空吹かしをしないでください。急発進の原因となります。
- 停車中にセレクトレバーを動かすときはブレーキペダルを確実に踏んでください。
- ヒルホールド機能がONのとき、急な上り坂でブレーキペダルを確実に踏んで停車した場合は、電動パーキングブレーキが自動でかかります。

☆3-64ページ参照

アドバイス


N コントロール機能が装備されています（アイドリングストップ装備車以外）。


- I（インテリジェント）モード選択時、車が完全に停止した後、セレクトレバーが  のままアイドリング状態でブレーキペダルを踏んでいると、ギヤがニュートラル状態になります。
- 再発進時はブレーキペダルから足を離してギヤがつながるまで若干時間（約1秒）がかかります。
急な上り坂での再発進時は、ヒルホールド機能を ON にすることをお奨めします。

■ 駐車

- ① 車を完全に止めます。



注意

車が完全に止まらないうちにセレクトレバーを  に入れないでください。トランスミッション損傷の原因となります。

- ② ブレーキペダルを踏んだままの状態、電動パーキングブレーキを確実にかけます。
- ③ セレクトレバーを  に入れます。
- ④ エンジンを止めます。

☆1-22ページ参照

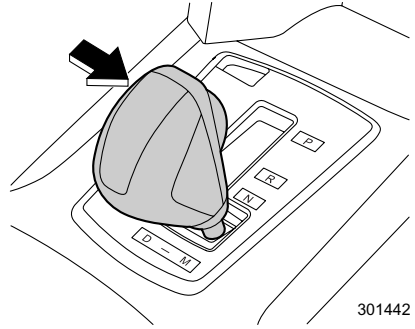
注意

車から離れるときは、必ずセレクトレバーを  に入れ、エンジンを止めてください。 以外でエンジンを止め、車を放置するとバッテリー上がりの原因となります。

マニュアルモード

■マニュアルモードの使いかた

セレクトレバーを[D]から[M]に動かすとマニュアルモードになります。

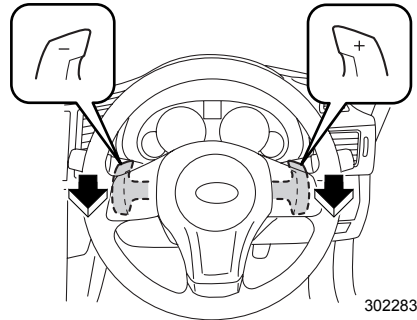


301442

■シフト操作

パドルシフト右側のレバーが⊕ (アップ) になり、左側のレバーが⊖ (ダウン) になります。1 段上のギヤに変速するときは⊕のレバーを手前に引きます。1 段下のギヤに変速するときは⊖のレバーを手前に引きます。

ギヤ段は1～6速です。ただし、2.0L車はS# (スポーツシャープモード) 選択時、1～8速になります。



302283

■マニュアルモードの解除

マニュアルモードを解除するときは、セレクトレバーを[M]から[D]の位置に移動させます。

🏠 アドバイス

- シフトダウン不可能な車速 (シフトダウンすることによりエンジンの回転がレッドゾーン付近になる場合) でシフトダウン操作をした場合、“ピピ”とブザーが鳴り、運転者にシフトダウンできないことを知らせます。
- マニュアルモード時、エンジン回転数がタコメーター (エンジン回転計) のレッドゾーンに近づくとき自動でシフトアップします。ただし、2.0L車でSI-DRIVEのS# (スポーツシャープモード) を選択している場合、自動でシフトアップしません。レッドゾーンに入らないようにシフトアップをしてください。
- 低過ぎる車速でシフトアップを行った場合、変速しません。
- 下り坂ではエンジンブレーキを併用することをお奨めします。

☆1-19ページ参照

■Dレンジパドルシフトマニュアル操作機能

走行中、**[D]**のままパドルシフトで変速すると自動変速モードから一時的にマニュアルモードに切り替わり、シフトポジション表示灯にギヤ位置が表示されます。その後しばらく走行すると通常の自動変速モード (**[D]**) に復帰します。下り坂やカーブの手前など、一時的にエンジンブレーキが必要なときに有効です。

⚠ 注意

パドルシフトのレバーにアクセサリなど物をかけないでください。アクセサリなどをかけるとレバーが不意に動き、シフト操作をするおそれがあります。

🏠 アドバイス

操作時の走行状況により、自動変速モードへの復帰時間が異なります。

■滑りやすい路面での発進（2速発進）

雪道など滑りやすい路面での発進は、マニュアルモードで2速を選択することにより、安全で容易に行えます。

ブレーキを踏んだまま、パドルシフトの \oplus 側のレバーを動かしギヤを2速にします。このときシフトポジション表示灯は2速を表示します。

🏠 アドバイス

2速発進を選択すると、2速で固定されたままになります。変速したい場合は、パドルシフトを \oplus または \ominus に操作してください。セレクトレバーを**[D]**にすると2速固定は解除され、自動変速モードに戻ります。

■シフトポジション表示灯

マニュアルモードが選択されるとギヤ位置を表示します。

シフトアップが可能な場合は数字の横に“▲”、シフトダウンが可能な場合は数字の横に“▼”が表示されます。

シフトアップ、シフトダウン可能表示灯が消灯している状態ではシフトアップ・ダウンはできません。

- シフトアップ可能表示灯 (1)
- シフトダウン可能表示灯 (2)
- 変速ギヤ表示 (3)

タイプAメーター



タイプBメーター

302284

SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive)

SI-DRIVE[※]は、3つの特性をもった走行モードの、I（インテリジェントモード）、S（スポーツモード）、S#（スポーツシャープモード）を選べるシステムです。

I（インテリジェントモード）：

ストレスのない走行性と低燃費を両立させたモードです。市街地走行などの日常の使用に適しています。

S（スポーツモード）：

I（インテリジェントモード）よりも走行性を向上させ、場所を選ばない走行モードです。高速道路での巡航時や郊外の道を走行するのに適しています。

S#（スポーツシャープモード）：

レスポンス重視のモードです。山間部での走行や高速道路の合流、追い越し加速時などに適しています。

※SI-DRIVEは、SUBARU Intelligent Driveに由来します。

■SI-DRIVEスイッチ

エンジンスイッチをONにすると、メーター内に選択されているモードの表示灯が点灯します。

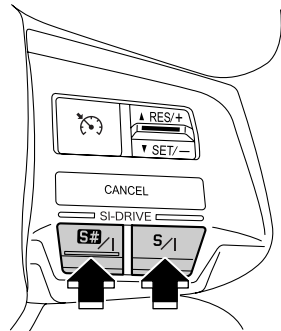
タイプBメーター装備車は、モードを切り替えるとSI-DRIVEグラフが一定時間表示されません。

▼S/Iスイッチ

- スイッチを押すごとに、I（インテリジェントモード）とS（スポーツモード）が切り替わります。
- S#（スポーツシャープモード）選択時、スイッチを押すとS（スポーツモード）に切り替わります。

▼S#/Iスイッチ

- スイッチを押すと S#（スポーツシャープモード）に切り替わります。
- S#（スポーツシャープモード）選択時、スイッチを押すとI（インテリジェントモード）に切り替わります。



302285

2.0L車は、セレクトレバーがDで走行中、S#（スポーツシャープモード）にするとトランスミッションの変速比が無段変速から8段変速になり、メーター内の表示が“D”からギヤ位置に切り替わります。

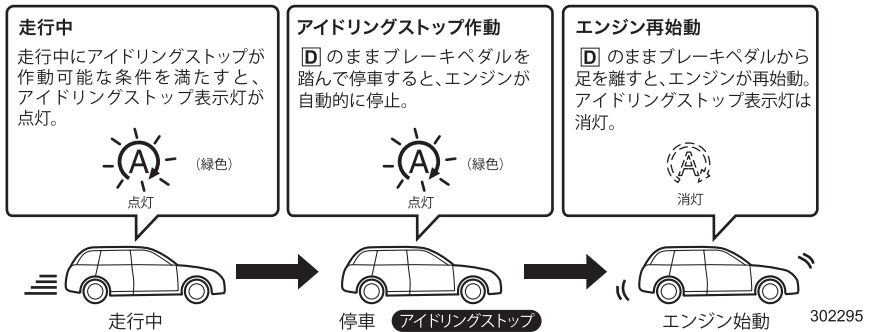
 **アドバイス**

- エンジンが冷えているときは、S#（スポーツシャープモード）を選択しても切り替えができません。この場合ブザーが鳴り、切り替えができないことを運転者に知らせます。
- S#（スポーツシャープモード）にしたままエンジンをOFFにし、再度エンジンをONにした場合、I（インテリジェントモード）になります。
- S（スポーツモード）または I（インテリジェントモード）でエンジンをOFFにし、再度エンジンをONにした場合、I（インテリジェントモード）になります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯したときは、どの走行モードに入ってもS（スポーツモード）になります。この場合、S#（スポーツシャープモード）またはI（インテリジェントモード）への切り替えはできません。
- エンジン冷却水の温度が上がりオーバーヒートのおそれがあるときは、S#（スポーツシャープモード）への切り替えができません。S#（スポーツシャープモード）で走行している場合は、S（スポーツモード）になります。3.6L車は、エンジンオイルの温度が上がった場合もS（スポーツモード）になります。

アイドリングストップ

アイドリングストップ (オートスタートストップ)

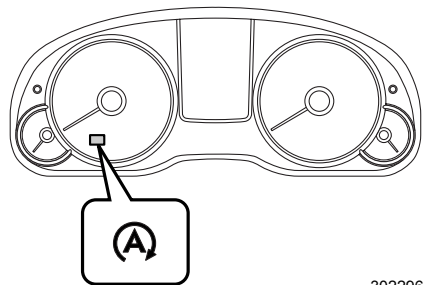
アイドリングストップとは、エンジン暖機後に運転中の信号待ちや渋滞などで車両が停止しているとき、燃費向上・排ガスの低減・アイドリング騒音低下のため、ブレーキ操作によってエンジンを自動停止させる機能です。また、ブレーキの解除によってエンジンを自動再始動させます。



エンジン始動後、走行せずにアイドリングを続けた場合、アイドリングストップは作動しません。また、停車中にアイドリングストップ・再始動を繰り返すこともありません。アイドリングストップは短時間のアイドリング時にエンジンを自動で停止・再始動させる機能です。長時間の駐車時はエンジンスイッチをOFFにしてください。

■アイドリングストップの作動

セレクトレバーがDで走行中、アイドリングストップが作動する条件を満たすと、メーター内のアイドリングストップ表示灯（緑色）が点灯します。



ブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップが作動し、エンジンが停止します。エンジン停止中、アイドリングストップ表示灯は点灯し続けます。

D のままブレーキペダルから足を離すと自動でエンジンが再始動し、アイドリングストップ表示灯が消灯します。走行中に再度アイドリングストップする条件を満たすと、アイドリングストップ表示灯が点灯します。

運転するとき

●アイドリングストップの作動条件

次の場合、アイドリングストップは作動可能になります。

- エンジンが十分に暖機されている
- 全てのドア（トランク、リヤゲートを含む）が閉まっている
- 運転席シートベルトを着用している
- デフロスタースイッチがOFF
- リヤウインドウデフォグスイッチがOFF
- ハザードランプスイッチがOFF
- 方向指示器レバーを操作していない※

※ カスタマイズの設定により作動条件は異なります。

☆1-2ページ参照

停車後、次の条件を満たすとアイドリングストップが作動します。

- ハンドルが直進状態のとき
- ハンドルを操作していない



アドバイス

- 次の場合は停車後、アイドリングストップが作動しないことがあります。
 - － 急な坂道で停車したとき
 - － 急ブレーキをかけて停止したとき
 - － ブレーキブースターの負圧が充分でないとき
- 停車時、アイドリングストップが作動せずにアイドリングストップ表示灯が消灯したときは、ブレーキペダルの踏み込みが弱い場合があります。ブレーキペダルをもう少し強く踏んでください。
- 次の場合、アイドリングストップするまで時間がかかるときがあります。
 - － 車を長期間使用しなかった場合などにより、バッテリーが放電したとき
 - － 外気温が高いとき、または低いとき
 - － バッテリー交換などにより、バッテリー端子を再接続したとき

●アイドリングストップが作動しない条件

次のいずれかの場合、アイドリングストップは作動しません。

- アイドリングストップ警告灯/アイドリングストップOFF表示灯（黄色）が点灯または点滅している
- エンジン警告灯が点灯している
- 電動パーキングブレーキが作動している
- ボンネットが開いている
- 標高約1500m以上のとき
- 外気温が約-10℃以下のとき
- トランスミッションフルードの油温が低いまたは、高いとき
- バッテリー状態が良好でない
- エアコン使用時、エアコンの設定温度と車内の温度の差が大きいとき



アドバイス

エンジン警告灯など、メーター内の警告灯が点灯・点滅している場合、アイドリングストップが作動しないことがあります。

●アイドリングストップの自動解除

次の操作を行うとアイドリングストップの作動が自動的に解除され、ブレーキペダルから足を離さなくても、エンジンが再始動します。

- 坂道でブレーキをゆるめ、車両が動きだしたとき
- ブレーキペダルをすばやく踏み増したとき
- アクセルペダルを踏んだとき
- セレクトレバーを[R]にしたとき
- ハンドル操作をしたとき
- 電動パーキングブレーキスイッチを操作したとき
- デフロスタースイッチをONにしたとき
- リヤウインドウデフォグスイッチをONにしたとき
- ハザードランプスイッチをONにしたとき
- 方向指示器を操作したとき※

※ カスタマイズの設定により作動条件は異なります。

☆1-2ページ参照

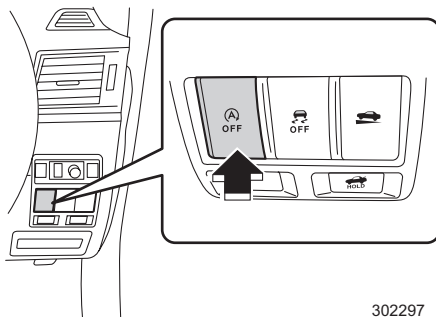
🏠 アドバイス

- アイドリングストップ中は、ブレーキペダルが硬く感じる場合がありますが、異常ではありません。
- アイドリングストップ中、次の状態になるとブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが再始動します。
 - － 車内の温度がエアコンの設定温度から大きく外れたとき
 - － バッテリーの放電が進んだとき
 - － ブレーキブースターの負圧が低下したとき
- 次のときはエンジン停止時間が短くなることがあります。
 - － 外気温が高いとき、または低いとき（エアコンが設定温度を維持できなくなるため）
 - － 電装品などの消費電力が多いとき
- アイドリングストップからエンジンが再始動すると、電源ソケットの電圧が低下するので、使用している電装品によっては電装品の電源が一時的にOFFになることがあります。

■ アイドリングストップの作動をOFFにするとき

アイドリングストップOFFスイッチを押すとアイドリングストップが作動停止状態となり、メーター内のアイドリングストップOFF表示灯（黄色）が点灯します。もう一度スイッチを押し続けるとアイドリングストップが作動可能な状態になり、アイドリングストップOFF表示灯が消灯します。

アイドリングストップ中にスイッチを押すと、エンジンが再始動します。



302297

🏠 アドバイス

- アイドリングストップ作動停止状態でエンジンスイッチをOFFした場合、エンジンを再始動するとアイドリングストップは作動可能な状態に戻ります。
- 車から離れるときはエンジンスイッチをOFFにしてください。バッテリー上がりの原因となります。

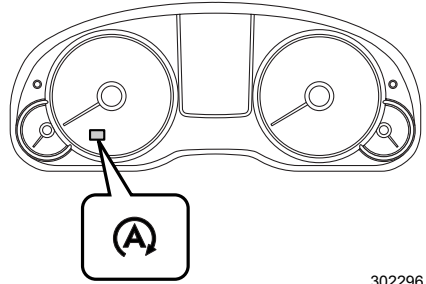
■アイドリングストップ表示灯（緑色）

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

▼点灯するとき

アイドリングストップの作動条件を満たしたとき、またはアイドリングストップ中に点灯します。

エンジンが再始動すると消灯します。



302296

■アイドリングストップ警告灯 / アイドリングストップOFF表示灯（黄色）

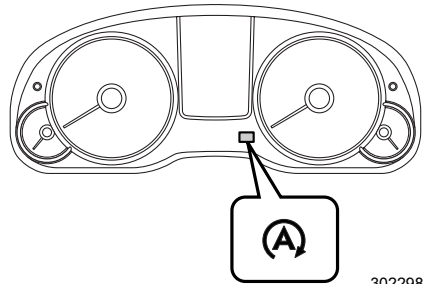
エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。

●アイドリングストップ警告灯

アイドリングストップシステムに異常があるとき、点滅します。また、マルチインフォメーションディスプレイに割り込み画面が表示されます。すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

●アイドリングストップOFF表示灯

アイドリングストップOFFスイッチを押してシステムを解除すると、点灯します。



302298

⚠ 注意

エンジン始動後にアイドリングストップ警告灯/アイドリングストップOFF表示灯が消灯しないまたは、アイドリングストップOFFスイッチを押しても点灯・消灯が切り替わらない場合は、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

■アイドリングストップ警告ブザー

●ブザー（ピー、ピー）が鳴るとき

アイドリングストップ中に運転席以外のドアを開けるとブザーが鳴り、アイドリングストップ中であることを知らせます。ドアを閉めると停止します。

●ブザー（ピーー）が鳴るとき

アイドリングストップ中に次の操作を行うと安全を確保するため通常のエンジン停止状態になり、ブザーが鳴ります（メーター内の警告灯も点灯します）。この場合、セレクトレバーを[P]にして周囲の安全を確認してから通常の操作でエンジンを始動するか、エンジンスイッチをOFFにするまでブザーは鳴り続けます。

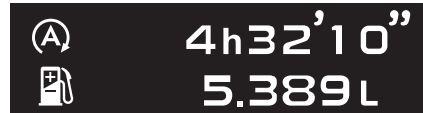
- ボンネットを開けたとき
- 運転者が車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトを外したり運転席ドアをあけたとき）
- 運転席以外のドアを開けたまま、放置したりブレーキペダルから足を離れたとき

■その他の機能

●アイドリングストップ表示

アイドリングストップした積算時間と、節約した燃料の目安をマルチインフォメーションディスプレイに表示することができます。

走行時間などを表示している場合、アイドリングストップが作動すると自動的に表示が切り替わります。アイドリングストップ作動中に他の画面に切り替えたいときは、▲/▼スイッチを操作してください。



☆3-47ページ参照

■ バッテリー

アイドリングストップ装備車は、高性能な専用バッテリーを使用しています。バッテリーを交換するときは、スバル純正のアイドリングストップ専用バッテリーに交換してください。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

注意

- 専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化やアイドリングストップが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- バッテリーの端子から直接電装品の電源をとらないでください。アイドリングストップが正常に作動しなくなります。

アドバイス

バッテリーは定期的に充電することで、長持ちさせることができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

クルーズコントロール

クルーズコントロール

クルーズコントロール（自動定速走行装置）は、アクセルペダルを踏まなくても約 40 ～ 100 km/hの任意の速度で車速を一定に保つことができる機能です。

警告


次のような道路では危険ですので使用しないでください。

- 交通量が多く、車間距離が充分に取れない道路
- 急な下り坂や急カーブが多い道路
- 凍結、積雪などで滑りやすい道路
- けん引のとき

注意


エンジン警告灯が点灯すると、同時にクルーズコントロール表示灯も点灯します。高速走行を避け、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

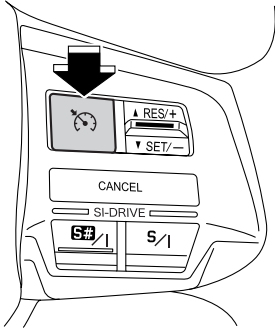
アドバイス

- 上り坂や下り坂では勾配、積載量により、一定車速を保てない場合があります。
-  (クルーズ) スイッチを押してもクルーズコントロール表示灯が点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。スバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

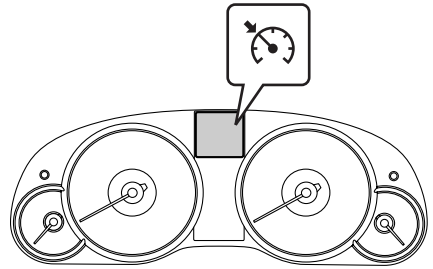
■CRUISEスイッチ

▼作動するとき

 (クルーズ) スイッチを押すとクルーズコントロールが作動可能になります。メーター表示部のクルーズコントロール表示灯が点灯します。
また、タイプBメーター装備車はセット車速 “---km/h” が表示されます。



302286




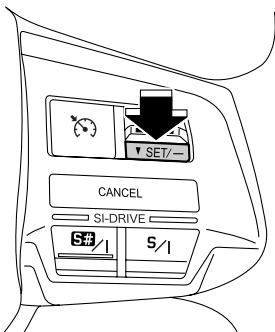
302287

▼停止するとき

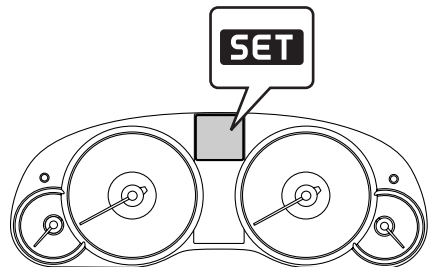
スイッチをもう一度押します。(表示灯とセット車速表示消灯)
エンジンスイッチをOFF (LOCK) または Acc にすると、クルーズコントロールの作動は自動的に停止します。

■速度をセットするとき

- ①  (クルーズ) スイッチを押してクルーズコントロールを作動可能にします。
- ② アクセルペダルを加減して希望する速度にします。
- ③ 希望する速度になったときRES/SETスイッチをSET/-側に押します。スイッチを押したときの速度がセット車速となり、定速走行します。
自動定速走行になると、メーター表示部のクルーズコントロール車速セット表示灯が点灯します。



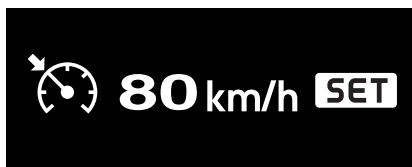
302288



302289

クルーズコントロール

タイプBメーター装備車は、セット車速が表示されます。



302290



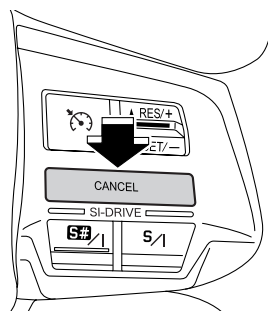
アドバイス

2.0L車は、SI-DRIVEのS#（スポーツシャープモード）を選択している場合に速度をセットすると、メーター内の表示がギヤ位置から“D”に切り替わります。

■一時解除

次の場合は自動定速走行が一時的に解除されます。メーター内のクルーズコントロール車速セット表示灯も消灯します。

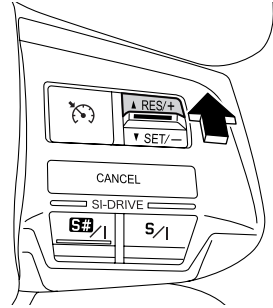
- CANCELスイッチを押したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき



302291

■一時解除の復帰（セット车速の再セット）

前回のセット车速がメモリーされているとき、その车速に再びセットする場合は、车速30km/h以上で走行しているときにRES/SETスイッチをRES/+側に押します。（メーター表示部が再びセット状態の表示になります）



302292

アドバイス

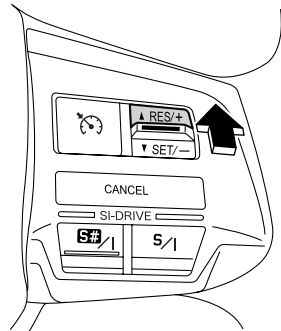
- 次の場合はメモリーされているセット车速が消去されます。
 - －クルーズメインOFFしたとき
 - －VDC、TCSが作動したとき
- 40km/h～100km/hの範囲で設定された速度で定速走行します。
- セット车速がメモリーされていない場合 RES/+ スイッチでは設定できません。
- RES/+ スイッチで設定した場合は、メモリーされているセット车速に設定されます。

運転するとき

■セット车速を上げるとき

●RES/SETスイッチによる方法

- RES/+側に1回ずつ押す
押す毎にセット车速が1km/hずつ上がります。
- RES/+側に押し続ける
長く押すと、押ししている間だけ加速します。スイッチを離れたときの车速にセットされます。



302292

●アクセルペダルによる方法

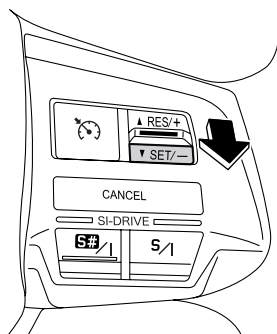
アクセルペダルを踏み、速度を上げます。

希望の速度になったらRES/SETスイッチをSET/-側に押します。スイッチを離れたときの车速で再セットされます。

■セット車速を下げるとき

●RES/SETスイッチによる方法

- SET/−側に1回ずつ押す
押す毎にセット車速が1km/h ずつ下がります。
- SET/−側に押し続ける
長く押すと、押し続けている間だけ減速します。スイッチを離れたときの車速にセットされます。



302293

●ブレーキペダルによる方法

ブレーキペダルを踏み、速度を下げます。(クルーズコントロールが解除されます。)
希望の速度になったらRES/SETスイッチをSET/−側に押します。

■一時的に加速したいとき

一時的に加速したいときは、アクセルペダルを踏みます。
アクセルペダルを離すと、セット車速まで戻ります。



アドバイス

2.0L車はアクセルペダルを踏み込むと、メーター内の表示が“D”からギヤ位置に切り替わることがあります。

■一時的に減速したいとき

減速するときは、ブレーキペダルを踏みます。このとき、クルーズコントロールは解除されます。



アドバイス

下り坂ではマニュアルモードによるエンジンブレーキを併用してください。